

薩摩川内市誕生20周年

# 記念事業実施報告書

【事業期間】令和6年1月1日～令和7年3月31日



令和7年6月

鹿児島県薩摩川内市

## ごあいさつ

薩摩川内市は、平成 16 年 10 月 12 日に 1 市 4 町 4 村が全国的にもまれな海越えの合併により誕生してから、令和 6 年で市誕生 20 周年を迎えました。

この記念すべき節目の年に、市民の郷土愛と一体感の醸成を図りながら、アフターコロナの未来に向けて更なる飛躍を目指し、市誕生 20 周年記念事業を実施してまいりました。

実施期間中は、記念式典や記念植樹、薩摩川内音楽祭など、シンボリックな「市主催事業」を実施してまいりました。

また、市、各種団体等が実施する既存のイベント等に『市誕生 20 周年記念』の冠を付して実施した「冠事業」のほか、地区コミュニティ協議会、企業等が実施する記念事業の提案を募集し、一部を支援した「市民協働事業」など、多彩なイベントを市民や企業、団体の皆さまが主体となって企画・運営をしていただきました。ご参加いただいた多くの皆さまや事業に携わっていただいた方々に、心からお礼を申し上げます。

令和 7 年は、広聴活動等により策定作業を進めてきた、今後、10 年間の市政経営の指針となる第 3 次総合計画のスタートの年となります。本市の未来を創造し、市民の皆さまと共に、「人が繋がり 人が輝く 安らぎと賑わいのまち薩摩川内」の実現に向け、まい進してまいります。

結びに、市誕生 20 周年記念事業の実施にあたり、市民や企業、団体の皆さまにご理解とご協力を賜りましたことに改めて深く感謝申し上げますとともに、この先の本市の発展に向け、今後とも一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



薩摩川内市長 田中 良二

## 目次

1	記念事業実施方針.....	2
(1)	基本理念.....	2
(2)	基本方針.....	2
(3)	記念事業の基本構成.....	2
(4)	実施期間.....	2
(5)	推進体制.....	3
2	ロゴマーク.....	3
3	記念事業.....	4
(1)	市主催事業.....	4
(2)	冠事業.....	11
(3)	市民協働事業.....	17
(4)	情報発信事業.....	20
4	その他事業.....	23
(1)	オリジナルフレーム切手.....	23
(2)	お祝い紙面掲載.....	23
	<b>参考資料</b> .....	24
(1)	主な取組経過.....	24
(2)	記念式典リーフレット.....	26
(3)	広報薩摩川内掲載記事.....	32
(4)	市誕生 20 年の歩み.....	38
(5)	数字で見る薩摩川内市.....	44
(6)	薩摩川内市誕生 20 周年記念事業推進本部設置要領.....	46
(7)	薩摩川内市誕生 20 周年記念市民協働事業補助金交付要領.....	48

# 1 記念事業実施方針

## (1) 基本理念

薩摩川内市は、令和6年10月12日に市誕生20周年を迎える。

この記念すべき節目の年に、市民とともに祝う記念事業を実施し、市民の郷土愛と一体感の醸成を図りながら、アフターコロナの未来に向けて更なる飛躍を目指す。

## (2) 基本方針

- ・伝統や文化を大切にし、ふるさと薩摩川内市への誇りと愛する心を育む。
- ・地域の資源や環境に配慮し、自然豊かな薩摩川内市を次世代に継承する。
- ・これからも住み続けたい魅力的なまちづくりの実現のため、市民とともに薩摩川内市の未来を創造する。
- ・市民総ぐるみで市誕生20周年を祝い、薩摩川内市の魅力を発信する。

## (3) 記念事業の基本構成

基本方針を踏まえ、以下の基本構成により記念事業を実施する。

事業種別	内 容
① 市主催事業	市誕生20周年を記念して、市が実施する記念式典などシンボリックな事業を実施する。
② 冠事業	市、各種団体等が実施する既存のイベント等で、市誕生20周年を広く周知するために「市誕生20周年記念」の冠を付して実施する。
③ 市民協働事業	市内の高校生、大学生、企業、地区コミュニティ協議会等が実施する記念事業の提案を募集し、薩摩川内市に住み続けたい魅力的なまちづくりへのチャレンジや今後の関係人口の創出のために実施する事業の一部を支援する。
④ 情報発信事業	市ホームページ、広報薩摩川内、各種メディア等で機運の醸成を図るほか、SNS等を活用して市民参加型のPRを実施する。
⑤ 市史編纂事業	市史編纂について、その組織等を検討し編纂に着手する。

## (4) 実施期間

令和6年10月12日を市誕生20周年の記念日とし、令和6年1月1日から令和7年3月31日までを実施期間とする。

令和5年度は、市誕生20周年記念の機運醸成のための広報啓発活動を実施する。

年度		令和 5 年度				令和 6 年度			
月		4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3
①	市主催事業	準備期間				事業実施期間			
②	冠事業					事業実施期間			
③	市民協働事業					事業実施期間			
④	情報発信事業					情報発信・機運の醸成			
⑤	市史編纂事業					組織の検討・編纂			

## (5) 推進体制

ア 薩摩川内市誕生 20 周年記念推進本部

記念事業等を推進するための意思決定機関で、市長を本部長とし構成員は政策会議と同じとする。

イ 薩摩川内市誕生 20 周年記念事業推進部会

各部局総括課長および関係課長で構成する組織とする。

## 2 ロゴマーク

薩摩川内市の伝統行事である川内大綱引をモチーフに「綱」と「繋ぐ」をかけて次世代へ繋いでいく想いを込めました。

数字の 2 の中のイラストは「手と手を合わせてつなぐ」「市誕生 20 周年を迎えわくわくしている」という 2 つの意味を表し、波線は川内川を表しています。

特産品のキビナゴ、希少野生動植物種のベッコウトンボ、兜をあしらい、臥龍梅で 20 周年を迎え賑わう華やかさを表現しました。

ピンクは「人の活力」、青は「川内川と海」、緑は「豊かな自然」をイメージしています。



(作者：越地成美さん)

### 3 記念事業

#### (1) 市主催事業

市誕生 20 周年を記念して、市が実施する記念式典などシンボリックな事業を実施しました。(全 7 事業)

#### 1 薩摩川内市誕生 20 周年記念植樹

開催日 令和 6 年 5 月 5 日(日)

会場 寺山いこいの広場

参加人数等 植樹参加者 53 人  
関係者 12 人

市誕生 20 周年を記念した植樹を行いました。未来を担う子どもたちと一緒に、本市の市木である「クロガネモチ」4 本を植樹し、参加者には本市産ヒノキを使用したお守りなどの記念品を贈呈しました。

#### 【参加者の声】

- ・ 植えたクロガネモチの木が市木だと知ってビックリした。この木と同じように私達も大きく成長したい。
- ・ 寺山公園で植樹ができて楽しかった。
- ・ 市長さん達と一緒に木を植えられて、いい思い出になった。



【担当課：耕地林務水産課】

## ② 川内大綱引重要無形民俗文化財指定記念イベント 「川内大綱引を未来へ”綱”GO！」

開催日	令和6年6月30日(日)
会場	SSプラザせんだい
参加人数等	来場者 500人 感謝状 6人

令和6年3月に国の重要無形民俗文化財に指定された川内大綱引。  
「川内大綱引を未来へ綱GO!」と題して、シンポジウムを開催し、川内大綱引の魅力や映像の解説、パネルディスカッションなどを行いました。映画「大綱引の恋」の上映後、映画に出演した俳優の升毅さんの舞台あいさつも行われました。また、太鼓体験や綱練りの模型などの展示も実施し、その価値や魅力を再認識しました。

### 【参加者の声】

- ・川内大綱引の歴史や面白さが感じられた。
- ・中学生のスピーチがとてもよかった。感動した。
- ・実際の大綱引を見に行っていないので、ぜひ見てみたい。



【担当課：社会教育課】

### ③ 薩摩川内ファンデー

開催日 令和6年7月21日(日)

会場 東京都千代田区有楽町

参加人数等 3,000人

薩摩川内市の特産品の販売や観光案内、移住相談などを実施しました。特産品の販売にはイベント開始前から行列ができ、本市出身の方も多く来場され、本市の魅力を最大限に発信することができました。

#### 【来場者の声】

- ・甑島や兜を見に行ってみたい。
- ・「薩摩川内」の読み方や場所が分かり親しみが湧いた。
- ・薩摩川内市を知ってはいたが今回でさらに深い魅力に気付いた。
- ・出身者として故郷を懐かしく感じた。



【担当課：観光物産課】

## 4 薩摩川内音楽祭 コカフェス 2024

開催日	令和6年9月28日(土)、29日(日)
会場	SSプラザせんだい
参加人数等	来場者(有料) 1,600人 SS広場(無料) 1,200人 ステージ出演者 200人

次世代を担う本市の若者とアーティストが一体となったミュージックフェスを開催しました。SS広場では、吹奏楽や軽音楽、合唱などが披露され、SSプラザせんだいでは、人気アーティストによるライブ演奏に加え、市内学生との合唱や、川内商工高等学校軽音楽部のベーシストとのコラボレーションも行われ、会場は大いに盛り上がりました。

### 【参加者の声】

- ・地元で大規模で、大勢の人と音楽の楽しさを共有できるイベントが開催され、その出演者になれたこと、とても光栄です。これからももっと多くの人に薩摩川内市の魅力を知ってもらい、音楽があふれる明るい街となることを願っています。
- ・ボランティアとして参加し、とてもいい経験をすることができました。地元のイベントを大人の方達と一緒に盛り上げることができて本当に楽しかったです。イベントを裏で支えることの大変さを知ることができたので、自分の将来に活かしていきたいです。
- ・日頃の練習の成果を披露する場が高校生はあまりなく、地元開催のイベントで、祖父母や友人など多くの人に音楽を聴いてもらい、嬉しかった。若い人達が輝ける楽しいイベントを続けて、薩摩川内市がもっと元気で若い子の活躍できる音楽の町になってほしいと思います。



【担当課：観光物産課】

## 5 薩摩川内市誕生 20 周年記念式典

開催日 令和 6 年 10 月 12 日(土)

会場 SS プラザせんだい

参加人数等 620 人

一部の式典では、市政功労者を表彰しました。また、新型コロナウイルス感染症対策に係る協力団体、特別国民体育大会(燃ゆる感動かごしま国体)開催に係る協力団体に対して特別表彰感謝状の贈呈を行い、来賓からの祝辞などもありました。

二部のイベントは、薩摩川内火けし保存会による木遣り唄で始まり、キンボシ、Everybody によるお笑いライブ、お笑いライブの出演者と記念式典ボランティアによるトークセッションを行いました。

### 【ボランティア参加者の声】

- ・市誕生 20 周年という節目に携わることができてうれしかった。
- ・多くの人に愛されている薩摩川内市であることを実感した。
- ・和装でボランティア活動をする機会なんて珍しくて新鮮だった。



【担当課：秘書広報課】

## ⑥ 清色城跡国指定 20 周年記念イベント 「薩摩川内サムライ・アカデミア～入来麓絵巻～」

開催日 令和 6 年 11 月 8 日(金)～10 日(日)

会場 入来文化ホール

参加人数等  
ステージイベント 400 人  
展示体験 170 人  
麓歩き 7 人

薩摩川内の武家社会をわかりやすく学べる歴史講演やパネルディスカッション、入来ゆかりの伝統芸能、戦国島津が躍動する漫画の原画展、甲冑工房丸武の展示など、様々な各角度から楽しめるイベントを開催しました。

### 【参加者の声】

- ・『ドリフターズ』などの原画展、丸武の甲冑展示、琵琶演奏と解説、神舞などパネルディスカッション、ガイド紹介、どれも最高でした。
- ・琵琶の音色に聞き惚れました。色んな角度から説明されて勉強になった。
- ・麓疱瘡踊が大変よかった。200 年以上も続いてきたと知り感動。麓の歴史や地政学な話も興味深く参加してよかった。また企画してほしい。
- ・入来小ジュニアガイドが発表してくれて地域の歴史への親しみを感じた。



【担当課：社会教育課】

## 7

## 「丸山ニコニコの森づくり」市民植樹祭

開催日	令和7年1月26日(日)
会場	丸山公園に隣接した市有林
参加人数等	113人

市民が憩いと安らぎを感じ、自然と笑顔が溢れる、未来へつながる森づくりを推進するため、市民植樹祭を実施しました。

## 【参加者の声】

- ・ドングリの木を植えた。大きくなるように地域の人たちと大切に育てていきたい。
- ・色々な木を植えられて良い経験が出来た。今後の成長が楽しみだ。
- ・朝のうちは寒かったが、丸山の登山体験もでき、樋脇地区コミの豚汁等のふるまいもあってとても良い一日だった。



【担当課：耕地林務水産課】

## (2) 冠事業

市、各種団体等が実施する既存のイベント等に「市誕生 20 周年記念」の冠を付して 116 の事業が実施されました。

No.	日程	事業名	会場	参加人数
1	令和 6 年 4 月 24 日	川内港国際定期コン テナ航路開設 20 周年 記念式典	SS プラザせんだい	405 人
2	4 月 24 日	2024 南日本新聞社杯 グラウンド・ゴルフ薩 摩川内大会	樋脇グラウンド・ ゴルフ場	1,190 人
3	4 月 28 日	入来楽市	入来麓交流館前庭	1,000 人 (4 回合計)
4	5 月 5 日	こどもの日フェスタ	少年自然の家	889 人
5	5 月 13 日	入来中学校体育大会	入来中学校	125 人
6	5 月 14 日 ～ 3 月 30 日	川内歴史資料館開館 40 周年記念トピック 展示「薩摩川内の城」	川内歴史資料館	4,755 人
7	5 月 14 日	水引小中学校合同運 動会	水引中学校	155 人
8	5 月 18 日	鹿島ウミネコまつり	鹿島港	167 人
9	5 月 26 日	うんまか市	川内駅向田口(西 口)駅前広場	3,500 人 (2 回合計)
10	5 月 26 日	第 19 回薩摩川内市芸 能祭	SS プラザせんだい	550 人
11	5 月 26 日	樋脇小学校第 78 回春 季大運動会	樋脇小学校	128 人
12	5 月 29 日	第 17 回市小学校綱引 競技大会	サンアリーナ川内	950 人
13	6 月 1 日 ～ 7 月 31 日	第 13 回入来温泉川柳 大会	副田地区コミュニ ティ協議会	1,016 人
14	6 月 2 日	祁答院小学校開校記 念春季大運動会	祁答院小学校グラ ウンド	118 人
15	7 月 1 日 ～ 9 月 20 日	第 29 回トンボロ芸術 村コンテスト		応募者総数 3,719 人
16	7 月 4 日 ～ 1 月 30 日	【開館プレイベント】 恐竜化石巡回展(出張 ミュージアム)	市役所本庁、センノ オト、川内港、川内 駅、川内まごころ文 学館、SS プラザせ んだい、祁答院支 所、入来支所、樋脇 郷土館、東郷公民館	5,793 人
17	7 月 7 日 ～ 14 日	川内美術協会小品展	プラッセだいわ川 内店	600 人

No.	日程	事業名	会場	参加人数
18	7月13日、 14日	エコプロジェクト「海 辺の学校 in こしき」	甌島地域	51人
19	7月14日	地域対抗バレーボ ール大会	サンアリーナせん だい	500人
20	7月14日	「県民の日」記念イベント	SSプラザせんだい	344人
21	7月19日	とうごう夏まつり納 涼大会	樋渡川多目的運動 公園	6,000人
22	7月20日、 21日	前園真聖杯サッカー 大会	丸山自然公園グラ ウンドほか	339人
23	7月21日	愉快的カラオケ大会	国際交流センター	330人
24	7月27日、 28日	市比野温泉杯サッカー 大会(中学生大会)	丸山自然公園グラ ウンドほか	352人
25	7月28日	入来楽市	入来麓交流館前庭	1,000人 (4回合計)
26	7月28日	上甌夏祭り	中甌漁港周辺	850人
27	7月28日	清塚信也 & 吉田翔平 アコースティック・デ ュオ コンサート	SSプラザせんだい	896人
28	7月29日 ～7月31日	第8回日韓友好薩摩 川内市・昌寧郡スポ ーツ・文化交流事業	昌寧郡施設	18人
29	7月30日、 31日	レッツ エンジョイ イングリッシュ	少年自然の家	38人
30	8月1日	薩摩川内港ポートセ ミナーin東京	TKP ガーデンシテ ィ PREMIUM 品川 HEART	150人
31	8月3日、 4日	市比野温泉杯サッカ ー大会(少年大会)	丸山自然公園グラ ウンドほか	352人
32	8月4日	～夏のにぎわい～こ ども祭 to 盆おどり	SSプラザせんだい ほか	1,050人
33	8月11日	西煌祭 ～夢花火 in Nishikata～	西方海水浴場	2,580人
34	8月13日	里夏祭り	みなと公園(里町)	838人
35	8月13日	鹿島港まつり	鹿島港	400人
36	8月16日	第66回川内川花火大会	川内川河川敷	80,000人
37	8月17日	藺牟田池外来魚駆除 釣り大会	藺牟田池	149人
38	8月17日	家庭教育学級講演会	国際交流センター	295人
39	8月23日	共生社会の実現を目 指す舞台芸術鑑賞会 「このゆびと～ま れ！」	SSプラザせんだい	623人

No.	日程	事業名	会場	参加人数
40	8月25日	入来楽市	入来麓交流館前庭	1,000人 (4回合計)
41	8月31日	薩摩川内市入来夏まつり	入来総合運動場	4,000人 (2回合計)
42	9月7日	うんまか市	川内駅向田口(西口)駅前広場	3,500人
43	9月7日、 8日	第33回全国市町村交流レガッタ薩摩川内大会	川内川河川敷	824人
44	9月7日	第8回下水道フェア	SSプラザせんだい	120人
45	9月14日	薩摩川内子供大綱引	川内川河川敷	318人
46	9月15日	海星中学校学校第47回体育大会	海星中学校	22人
47	9月15日	祁答院中学校第56回体育大会	祁答院中学校	72人
48	9月15日	川内南中学校第65回体育大会	川内南中学校	569人
49	9月15日	東郷学園義務教育学校第6回体育大会	東郷学園義務教育学校	400人
50	9月15日	平成中学校第34回体育大会	平成中学校	90人
51	9月22日	川内大綱引 川内大綱引国指定PR促進事業	向田町 国道3号	50,000人
52	9月22日	【開館プレイベント】化石講演会「薩摩川内から始める最新恐竜学」	SSプラザせんだい 2階多目的ホール	138人
53	9月22日	里幼小中合同運動会	里中学校	80人
54	9月23日	多文化共生事業在住外国人交流会 「日本文化体験&みんなで交流会」	国際交流センター	48人
55	10月4日 ～11月4日	【開館プレイベント】コラボ展示	鹿島市民サービスセンター	628人
56	10月4日 ～11月4日	KOSHIKI ART 2024 ー再生と兆しー	甌島	1,750人
57	10月6日	育英小学校第78回運動会	育英小学校	373人
58	10月6日	城上小学校第78回運動会	城上小学校	49人
59	10月6日	副田小学校第78回運動会	副田小学校	68人
60	10月12日、 12月1日	第20回地域対抗ソフトボール大会	市総合運動公園	500人
61	10月13日	第1回薩摩川内市スポーツフェスタ	市総合運動公園	3,000人

No.	日程	事業名	会場	参加人数
62	10月13日	いりきファミリーハイキング	入来総合運動場	988人
63	10月13日	手打小手打地区合同運動会	手打小学校	50人
64	10月14日	薩摩川内市文化協会合同文化祭「文芸大会」	SSプラザせんだい	250人
65	10月19日	【開館プレイベント】化石の日イベント	鹿島市民サービスセンター	18人
66	10月19日	世界よかところ FESTA	センノオト	1,000人
67	10月19日	青少年育成の日のつどい及び子ども会大会	国際交流センター	308人
68	10月20日	亀山小学校第78回運動会	亀山小学校	444人
69	10月20日	高来小学校運動会	高来小学校	89人
70	10月20日	平佐西小学校第78回運動会	平佐西小学校	808人
71	10月23日、 10月30日、 11月14日	薩摩川内市仲よし音楽会	国際交流センター・入来文化ホール・海星中	1,260人
72	10月26日	薩摩川内はんやジュニア大会	SSプラザせんだい	500人
73	10月27日	峰山小学校・峰山地区合同運動会	峰山小学校	50人
74	11月2日	てらやまんちオータムフェスタ	少年自然の家	171人
75	11月3日	薩摩川内はんやまつり	向田町(国道3号)	3,704人
76	11月10日	いむた池マルシェ 秋	藺牟田池	1,000人
77	11月10日	市民とふれあい消防フェスタ	中央消防署	1,007人
78	11月16日	【開館プレイベント】化石講演会「無酸素水塊と化石ー貝池は中生代の覗き窓ー」	鹿島公民館	35人
79	11月16日	家庭教育学級研修会	国際交流センター	290人
80	11月17日	第20回薩摩川内市産業祭&JAフェスタ	市総合運動公園	約27,000人
81	11月17日	薩摩川内市文化協会合同文化祭「藝能祭」	SSプラザせんだい	680人

No.	日程	事業名	会場	参加人数
82	11月23日	祁答院うめんこ村旗争奪ソフトボール大会	祁答院グラウンドほか	540人
83	11月23日	入来楽市	入来麓交流館前庭	1,000人 (4回合計)
84	11月23日、 24日	薩摩川内市文化協会合同文化祭「花展・茶席」	SSプラザせんだい	280人
85	11月23日	川内港にぎわい祭り&薩摩川内ポートフェア	川内港高速船ターミナル前駐車場	約1,500人
86	11月24日	こしきしま竜宮文化フェスタ	下甕地域	852人
87	11月24日	八重山高原星物語2024	国立天文台VERA入来観測局	100人
88	11月24日	第3回がらっばどん祭	宮里公園	2,200人
89	11月24日	市比野温泉よさこい祭り	市比野温泉場中通り	10,000人
90	11月24日	中央公民館まつり	中央公民館	950人
91	11月26日 ～12月1日	薩摩川内市文化協会合同文化祭「総合作品展」	川内まごころ文学館企画展示室	130人
92	11月27日	薩摩川内市小学校陸上記録会	陸上競技場	505人
93	11月30日	【開館プレイベント】恐竜コンサート	鹿島市民サービスセンター	125人
94	11月30日 ～1月13日	川内駅前ウィンターイルミネーション	川内駅周辺	12,000人
95	12月1日	薩摩川内市サイクルフェスタ	宮里公園ほか	1,000人
96	12月1日	薩摩川内市文化協会合同文化祭「音楽祭」	SSプラザせんだい	450人
97	12月1日	薩摩せんだい図書館フェスタ	中央図書館、中央公民館	490人
98	12月8日	きゃんぱくイベント2024	入来総合運動場	1,100人
99	12月20日	日中友好薩摩川内市・常熟市青少年文化交流事業	国際交流センター	103人
100	12月25日 ～27日	市比野温泉杯サッカー大会(高校生大会)	丸山自然公園グラウンドほか	330人
101	12月25日 ～28日	青少年フレッシュ体験事業	北海道虻田郡ニセコ町	20人

No.	日程	事業名	会場	参加人数
102	令和7年 1月5日、 11日	薩摩川内市消防出初式	上甕グラウンド、 長浜緑地公園、川 内川河川敷	約1,050人
103	1月12日	令和7年薩摩川内市 二十歳のつどい	SSプラザせんだい	636人
104	1月16日 ～2月15日	川内歴史資料館収蔵 とゆかりの美術展	川内まごころ文学 館企画展示室	464人
105	1月19日	第20回地区対抗綱引 競技大会	サンアリーナせん だい	500人
106	1月26日	国指定重要無形文化 財・ユネスコ無形文化 遺産「組踊」特別鑑賞 会	SSプラザせんだい	600人
107	2月2日	てらやまんちフェス タ	少年自然の家	727人
108	2月8日、 9日	市比野温泉杯サッカ ー大会(女子U-12、U- 15大会)	丸山自然公園グラ ウンドほか	132人
109	2月11日	谷本道哉講演会～筋 肉は裏切らない！百 歳まで歩けるカラダ づくり～	サンアリーナせん だい	342人
110	2月16日	【開館イベント】 骨格標本の公開組立	鹿島市民サービス センター	55人
111	2月23日	いむた池梅マラソン 大会	藪牟田池	351人
112	3月1日	薩摩川内SDGsチ ャレンジシンポジウ ム with 次世代エネル ギーフェア	SSプラザせんだい	515人
113	3月9日	生涯学習フェスティ バル&男女共同参画 フェア	市総合運動公園、 サンアリーナせん だい	10,000人
114	3月9日	第24回川内川河口マ ラソン・ウォーキング 大会	川内川河畔	1,101人
115	3月16日	SENDE FESTA ーせん でふえすー	川内川大小路みら い公園	3,000人
116	3月23日	【開館イベント】 甕ミュージアム内覧 会	鹿島市民サービス センター	230人

### (3) 市民協働事業

市内の高校生、企業、地区コミュニティ協議会などが企画・実施する、本市の魅力を生かし、地域のさらなる活性化や今後の関係人口の創出に寄与する 14 事業について、補助金を交付しました。

① ゆるふわ日和 ゆるふわ×豊日和合同マルシェ	
マルシェと南九州では開催の少ない「しゃぼん玉師」によるショーを開催しました。	
主催	ゆるふわ日和実行委員会
開催日	令和 6 年 7 月 28 日(日)
会場	甲冑工房丸武
参加人数等	来場者数 2,000 人

② I LOVE 市比野温泉！	
市誕生 20 周年を記念した打ち上げ花火を開催しました。	
主催	市比野温泉地域活性化協議会
開催日	令和 6 年 8 月 17 日(土)
会場	市比野温泉地内
参加人数等	観客数 2,000 人

③ 鳥丸ふるさと祭り	
フォトコンテスト、地元住民による演芸披露などや、鳥丸地区の歴史を振り返る動画を作成し上映しました。	
主催	鳥丸地区コミュニティ協議会
開催日	令和 6 年 9 月 22 日(日)
会場	旧鳥丸小学校体育館
参加人数等	来場者数 200 人

④ 「大綱引の恋」上映会	
「大綱引の恋」上映会を開催し、西田聖史郎氏(出演者)の舞台挨拶、バンド演奏が行われました。	
主催	青瀬地区コミュニティ協議会
開催日	令和 6 年 10 月 19 日(土)、20 日(日)
会場	甌島 4 会場
参加人数等	150 人

⑤ 川内川ハロウィン 大おおがね祭り	
縁日、BBQ、花火などのイベントを開催しました。	
主 催	株式会社 ラフィングキューブ
開 催 日	令和6年10月26日(土)
会 場	川内川河川敷(SOKO KAKAKA 付近)
参加人数等	来場者数 1,000人

⑥ ようこそ市比野温泉へ	
よさこい祭りの演舞者や来場者にアンケート調査を実施し、回答者に市比野温泉と市誕生20周年をPRする温泉セットを配布しました。	
主 催	市比野温泉活性化協議会
開 催 日	令和6年11月24日(日)
会 場	市比野温泉地内
参加人数等	来場者数 5,000人

⑦ サンデンフェスタ	
6年ぶりとなる産業文化祭を開催し、地区の郷土芸能(太鼓踊り、棒鎌踊り、俵踊り)が復活披露されました。	
主 催	山田地区コミュニティ協議会
開 催 日	令和6年11月24日(日)
会 場	旧山田小学校
参加人数等	来場者数 450人

⑧ 放置竹林を活用した市比野地域とれいめい高校の共同イベント	
れいめい高校の学生が放置竹林について学ぶとともに、市比野温泉街地域の活性化に向けたイベントを開催しました。	
主 催	好日市比野実行委員会
開 催 日	令和6年12月7日(土)
会 場	樋脇保健センター付近
参加人数等	来場者数 500人

⑨ 太平橋架橋150年講演会と「いにし可愛まちあるき」	
太平橋架橋150年記念講演会を開催し、「いにし可愛まちあるき」では、子ども歴史ガイドによる史跡案内が行われました。	
主 催	可愛地区コミュニティ協議会
開 催 日	令和6年12月7日(土)、8日(日)
会 場	可愛地区内
参加人数等	講演会 200人、まちあるき 96人

⑩ LOVE TRAIN 婚活列車♡肥薩おれんじ鉄道運行！	
肥薩おれんじ鉄道の車両を貸し切り、観光 PR を兼ねた川内駅発着の婚活イベントを開催しました。	
主 催	鹿児島婚活サロン Deai_Max
開 催 日	令和 6 年 12 月 15 日(日)
会 場	肥薩おれんじ鉄道車両内(川内駅～野田郷駅往復)
参加人数等	32 人

⑪ 新春顔見世～華の賑い～	
日本舞踊や和太鼓演奏、市観光大使福居一大氏ゲスト出演による舞台公演を開催しました。	
主 催	特定非営利活動法人薩摩川内市文化協会
開 催 日	令和 7 年 1 月 5 日(日)
会 場	SS プラザせんだい
参加人数等	観客 650 人 出演者 65 人

⑫ バレンタイン婚活	
肥薩おれんじ鉄道を使い、結婚につながる男女の出会いの場を提供しました。	
主 催	薩摩川内市女性団体連絡協議会
開 催 日	令和 7 年 2 月 9 日(日)
会 場	肥薩おれんじ鉄道車両内(川内駅～野田郷駅往復)
参加人数等	28 人

⑬ 閉校記録動画厳選 30 校収録 DVD 制作及び希望者へ提供	
廃校となった小中高校毎の記録動画の制作し、YouTube へ公開しました。また、今回制作した分と既に作成済みの 24 校分を合わせ 1 枚の DVD に編集収録し、希望者へ提供しました。	
主 催	映像集団薩摩川内
実施期間	令和 7 年 1 月～ 3 月
参加人数等	200 人

⑭ ご当地ソング春祭り	
各地域のご当地ソングの披露や薩摩川内市市民歌に合わせたフラダンスの披露がありました。	
主 催	みんなで歌おう会
開 催 日	令和 7 年 3 月 15 日(土)
会 場	入来文化ホール別館多目的ホール
参加人数等	180 人

#### (4) 情報発信事業

ア 薩摩川内市誕生 20 周年記念  
 サイト（78,874 ページビュー）  
 薩摩川内市誕生 20 周年記念  
 のポータルサイトを作成し、市  
 内外に記念事業などを情報発  
 信しました。

※薩摩川内市誕生 20 周年記念  
 サイトはこちら  
[https://www.city.  
 satsumasendai.lg.  
 jp/soshiki/1042/2  
 /20/index.html](https://www.city.satsumasendai.lg.jp/soshiki/1042/2/20/index.html)



イ 広報薩摩川内

本市の 20 年を振り返るとともに、記念事業の記事を掲載しました。  
 ※掲載記事の一部を巻末の参考資料に掲載しています。

発行	内容
令和 6 年 1 月通常版	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 薩摩川内市 20 年のあゆみ</li> <li>・ 思い出 20 年。あの時、薩摩川内 vol. 1</li> </ul>
令和 6 年 2 月通常版	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ みんなで薩摩川内市誕生 20 周年を盛り上げよう</li> <li>・ 思い出 20 年。あの時、薩摩川内 vol. 2</li> </ul>
令和 6 年 3 月通常版	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市長と振り返る薩摩川内市誕生 20 周年 vol. 1</li> <li>・ 思い出 20 年。あの時、薩摩川内 vol. 3</li> </ul>
令和 6 年 4 月通常版	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市長と振り返る薩摩川内市誕生 20 周年 vol. 2</li> <li>・ 思い出 20 年。あの時、薩摩川内 vol. 4</li> </ul>
令和 6 年 5 月通常版	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市長と振り返る薩摩川内市誕生 20 周年 vol. 3</li> <li>・ 思い出 20 年。あの時、薩摩川内 vol. 5</li> </ul>
令和 6 年 6 月通常版	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市長と振り返る薩摩川内市誕生 20 周年 vol. 4</li> <li>・ 思い出 20 年。あの時、薩摩川内 vol. 6</li> </ul>
令和 6 年 7 月通常版	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 祝薩摩川内市誕生 20 周年</li> <li>・ 市長と振り返る薩摩川内市誕生 20 周年 vol. 5</li> <li>・ 思い出 20 年。あの時、薩摩川内 vol. 7</li> </ul>
令和 6 年 8 月通常版	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 祝薩摩川内市誕生 20 周年</li> <li>・ 市長と振り返る薩摩川内市誕生 20 周年 vol. 6</li> <li>・ 思い出 20 年。あの時、薩摩川内 vol. 8</li> </ul>
令和 6 年 9 月通常版	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 祝薩摩川内市誕生 20 周年</li> <li>・ 思い出 20 年。あの時、薩摩川内 vol. 9</li> </ul>
令和 6 年 10 月通常版	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 思い出 20 年。あの時、薩摩川内 vol. 10</li> </ul>
令和 6 年 11 月通常版	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市誕生 20 周年記念式典特集</li> <li>・ 思い出 20 年。あの時、薩摩川内 vol. 11</li> </ul>

発行	内容
令和6年12月通常版	・思い出20年。あの時、薩摩川内 vol.12
令和7年1月通常版	・思い出20年。あの時、薩摩川内 vol.13
令和7年2月通常版	・思い出20年。あの時、薩摩川内 vol.14
令和7年3月通常版	・思い出20年。あの時、薩摩川内(最終回)



▲ 広報薩摩川内 10月通常版  
ウ SNS等



▲ 広報薩摩川内 11月通常版

市公式LINE、X(公式薩摩川内市役所)、Facebook(薩摩川内市役所)などを活用して記念事業のさまざまな情報を発信するとともに薩摩川内大使などによるカウントダウン応援メッセージを配信しました。

期日	YouTube(薩摩川内市チャンネル)配信内容
令和6年 3月26日 (200日前)	薩摩川内観光大使のドラックドラゴン塚地武雅さんにお祝いメッセージをいただきました。
7月4日 (100日前)	映画「大綱引の恋」に出演された俳優の升毅さんにお祝いメッセージをいただきました。
8月23日 (50日前)	薩摩川内音楽祭コカフェス2024に出演されるOKAMOTO'Sのオカモトショウさんにお祝いメッセージをいただきました。
9月12日 (30日前)	市誕生20周年記念式典のイベントに出演されるEverybody(エビバディ)さんにお祝いメッセージをいただきました。
10月2日 (10日前)	市誕生20周年記念式典のイベントに出演されるキンボンさんにお祝いメッセージをいただきました。
10月9日 (3日前)	鹿児島県出身の松本麗世さんにお祝いメッセージをいただきました。
10月10日 (2日前)	第10代薩摩川内親善大使のお二人にお祝いメッセージをいただきました。
10月11日 (1日前)	市誕生20周年記念式典のイベントに出演される薩摩川内火けし保存会の皆さんにお祝いメッセージをいただきました。

※各メッセージ動画は、市ホームページ「市誕生 20 周年記念事業」の 4. 情報発信事業からご覧いただけます。  
<https://www.city.satsumasendai.lg.jp/soshiki/1042/2/20/index.html>



## エ 横断幕・懸垂幕

横断幕と懸垂幕を作成し、本庁舎、樋脇支所、入来支所、東郷支所、祁答院支所、甑島振興局、下甑支所、里市民サービスセンター、鹿島市民サービスセンター、川内駅に掲示したほか、横断幕は記念事業への貸し出しを行いました。

▼横断幕(イベント貸し出し用)



## オ 新聞特集

令和 6 年 10 月 12 日付の南日本新聞朝刊に 20 周年を記念して合併後の歩みと未来に向けた市民のメッセージ等を掲載しました。

また、市民のメッセージについては、インタビュー動画を制作し、「市誕生 20 周年記念式典」にて披露しました。

※インタビュー動画はこちらからご覧いただけます。  
<https://www.youtube.com/watch?v=RrDJX4qBUP8>



## カ メディア特集

- ・市誕生 20 年の歩みを振り返るアーカイブ映像を制作し、「市誕生 20 周年記念式典」にて披露しました。
- ・20 周年を記念したテレビ、ラジオの CM を制作し放送しました。
- ・本市の取組を広く県内に周知する特別番組「わくわく、つなぐこの先も～薩摩川内市誕生 20 周年」を制作し、令和 7 年 1 月 26 日に MBC テレビにて放送しました。

- ・本市の音風景を収録したラジオ番組「サウンドオブ薩摩川内」を制作し、令和7年1月5日から全13回MBCラジオにて放送しました。

※放送内容は、こちらから聴取できます。

<https://www.city.satsumasendai.lg.jp/soshiki/1042/2/20/15634.html>



回	放送日	内容
1	令和7年 1月5日	川内大綱引
2	1月12日	木場の棚田
3	1月19日	入来神舞
4	1月26日	伝統の芋焼酎造り・祁答院蒸溜所
5	2月2日	甑島のトシドン
6	2月9日	鬼火焚き
7	2月16日	藤本滝と市比野温泉
8	2月23日	川内駅
9	3月2日	東郷文弥節人形浄瑠璃
10	3月9日	市比野温泉よさこい祭り
11	3月16日	センノオト
12	3月23日	高速船甑島
13	3月30日	川内川花火大会

キ その他

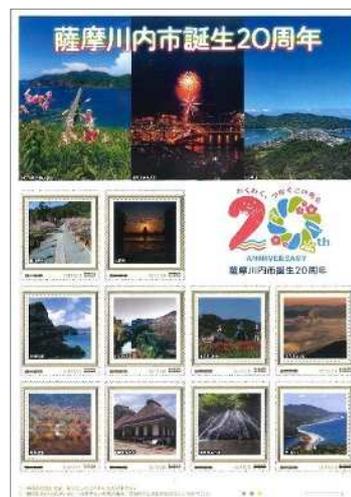
バックパネルシートや撮影背景用タペストリーを作成しました。

## 4 その他事業

### (1) オリジナルフレーム切手

日本郵便株式会社九州支社が薩摩川内市誕生20周年を記念してオリジナルフレーム切手を販売しました。

- ・販売開始日：令和6年10月7日(月)
- ・販売価格：1シート 1,800円
- ・シート構成：1シート 110円切手×10枚
- ・販売部数：249シート



### (2) お祝い紙面掲載

令和6年10月3日付け読売新聞鹿児島県版に20周年を記念する広告記事が掲載されました。

## 参考資料

### (1) 主な取組経過

実施時期	内容
令和6年1月1日	記念事業実施期間開始(～令和7年3月31日)
令和6年1月4日	ロゴマーク発表
令和6年1月4日	懸垂幕設置(本庁・支所など)
令和6年1月10日号	広報薩摩川内「思い出20年。あの時、薩摩川内」連載開始(～令和7年3月10日号)
令和6年3月10日号	広報薩摩川内「市長と振り返る薩摩川内市誕生20周年」連載開始(～令和6年8月10号)
令和6年4月1日	薩摩川内市誕生20周年記念事業推進本部設置
令和6年3月26日	200日前カウントダウンメッセージを配信
令和6年5月5日	薩摩川内市誕生20周年記念植樹開催
令和6年6月30日	川内大綱引重要無形民俗文化財指定記念イベント「川内大綱引を未来へ”綱”GO！」開催
令和6年7月4日	100日前カウントダウンメッセージを配信
令和6年7月21日	薩摩川内ファンデー開催
令和6年8月23日	50日前カウントダウンメッセージを配信
令和6年9月12日	30日前カウントダウンメッセージを配信
令和6年9月28日、 令和6年9月29日	薩摩川内音楽祭 コカフェス2024開催
令和6年10月1日	20周年記念テレビCM放送開始(～10月31日)
令和6年10月2日	10日前カウントダウンメッセージを配信
令和6年10月7日	オリジナルフレーム切手販売開始
令和6年10月7日	20周年記念ラジオCM放送開始(～3月30日)
令和6年10月7日	MBCテレビ「あの日のふるさと」放送(～11日)
令和6年10月9日	3日前カウントダウンメッセージを配信
令和6年10月10日	2日前カウントダウンメッセージを配信
令和6年10月11日	1日前カウントダウンメッセージを配信
令和6年10月12日	薩摩川内市誕生20周年記念式典開催
令和6年11月9日	清色城跡国指定20周年記念イベント「薩摩川内サムライ・アカデミア～入来麓絵巻～」開催
令和7年1月5日	薩摩川内市誕生20周年記念ラジオ番組「サウンドオブ薩摩川内」放送開始(～3月30日)
令和7年1月26日	「丸山ニコニコの森づくり」市民植樹祭開催
令和7年1月26日	MBC特別番組「わくわく、つなぐこの先も～薩摩川内市誕生20周年」放送
令和7年3月31日	記念事業実施期間終了

【庁内会議】

開催日	内容	備考
令和5年1月23日	政策会議	薩摩川内市誕生20周年記念事業の「実施方針」について
令和5年7月3日	政策会議	薩摩川内市誕生20周年記念事業で実施する「市主催事業」候補について
令和6年2月5日	政策会議	薩摩川内市誕生20周年記念事業について
令和6年5月27日	推進部会	市民協働事業書類審査
令和6年6月4日	推進本部会議	市民協働事業決定
令和6年6月21日	推進部会	市政功労者被表彰者の選考
令和6年7月29日	推進本部会議	市政功労者表彰者審議
令和6年9月13日	推進部会	市民協働事業書類審査(追加募集分)
令和6年9月24日	推進本部会議	市民協働事業決定(追加募集分)
令和7年2月28日	推進部会	薩摩川内市誕生20周年記念事業実施報告書(素案)について

(2) 記念式典リーフレット

# 薩摩川内市誕生20周年記念式典



**とき** 令和6年10月12日(土)

**ところ** SSプラザせんだい

## 記念式典式次第

### 第1部 式典

- 1 開式のことば
- 2 国歌斉唱
- 3 市民歌斉唱
- 4 市長式辞
- 5 市議会議長あいさつ
- 6 市政功労者感謝状贈呈
- 7 特別表彰感謝状贈呈
- 8 来賓祝辞
- 9 来賓紹介
- 10 祝電披露
- 11 閉式のことば

### 第2部 イベント

- 1 木遣り唄
- 2 お笑いライブ
- 3 トークセッション

## 市政功労者

地方自治部門 <span style="float: right;">(敬称略・順不同)</span>					
<主な役職等>	<氏名>	<住所>	<主な役職等>	<氏名>	<住所>
元市議会議員	永山伸一	東郷町	元自治会長	橋野勝彦	鹿島町
〃	今堀屋裕一	宮里町	自治会長	飯屋立夫	西向田町
〃	福元光一	五代町	〃	有村義博	西向田町
〃	持原秀行	天辰町	〃	山口富貴夫	向田本町
元市選挙管理委員会委員	大久保捷子	鹿兒島市	〃	高木得次	宮里町
元副市長	知識博美	日置市	〃	下満和美	隈之城町
消防団大隊長	平嶺元章	里町	〃	今井浩生	白和町
消防団副団長	別府生次	祁答院町	〃	谷口信一	御陵下町
消防団方面隊長	白瀬良照	下甕町	〃	山口隼人	御陵下町
元地区コミュニティ協議会 会長	草留嘉徳	田海町	〃	寺川一徳	小倉町
〃	諏訪六雄	東郷町	〃	上田勇治	港町
元自治会長	今井塵子	東向田町	〃	時吉正男	寄田町
〃	由井蘭洋司	西向田町	〃	福山弘昭	高江町
〃	慶田好美	冷水町	〃	小園清秀	城上町
〃	水溜貞美	宮里町	〃	山口正喜	城上町
〃	下田幸男	隈之城町	〃	山元一彦	西方町
〃	瀬戸東秀司	中村町	〃	平山美茂	樋脇町
〃	中塚常夫	寄田町	〃	橋口誠人	樋脇町
〃	出口政和	高江町	〃	大重修二	入来町
〃	内田正秋	白浜町	〃	宮野光祥	下甕町
〃	田中正憲	陽成町	〃	宮野ナ子子	下甕町
〃	廣瀬春雄	城上町	元市情報公開・ 個人情報保護審査会会長	桐原洋一	大小路町
〃	西原義尚	樋脇町	元市都市計画審議会委員	平野哲寛	樋脇町
〃	岩元正純	樋脇町	市景観審議会会長	中俣知大	高城町
〃	馬場利雄	入来町	市景観審議会委員	永田善三	高江町
〃	柳幸次郎	上甕町	天辰第一地区 土地区画整理審議会会長	上西克幸	天辰町
〃	下野幹夫	下甕町			

### 教育文化部門

(敬称略・順不同)

<主な役職等>	<氏名等>	<住所>	<主な役職等>	<氏名>	<住所>
元教育長	上屋和夫	陽成町	市文化財保護審議会委員	丸目直樹	大小路町
元教育委員会委員長	三本伴子	始良市	元市軟式野球連盟会長	堂園喜明	東向田町
元教育委員会委員	柳田利久	入来町	市美術協会理事	寺田幸史	宮里町
市スポーツ少年団本部長	勝田芳孝	入来町	川内川に鯉のぼりを上げる会会長	貴島浩一	上川内町
市文化財保護審議会会長	持永八洲郎	樋脇町			
団体	川内大綱引保存会	(烏追町)			

### 社会福祉部門

(敬称略・順不同)

<主な役職等>	<氏名>	<住所>	<主な役職等>	<氏名>	<住所>
元民生委員・児童委員	東洋一	西向田町	市母子寡婦福祉会会長	奥園和子	樋脇町
民生委員・児童委員	内田里子	樋脇町	医師	福山廣	西向田町
"	梶原尚美	上飯町	"	前島良裕	樋脇町
"	郭長治	西向田町	元川内市医師会会長	久留敏弘	東向田町
"	若田吉朗	平佐町	元市食生活改善推進員協議会会長	森永靖子	御陵下町
"	窪田美由喜	御陵下町	市食生活改善推進員協議会会長	福崎照美	祁答院町
"	藤井清子	入来町	市食生活改善推進員	谷口ヨツ子	入来町
保護司	福山義幸	大王町	戦没者遺族相談員	出原菊芳	中村町
"	蔵元保海	上飯町			

### 産業経済部門

(敬称略・順不同)

<主な役職等>	<氏名等>	<住所>	<主な役職等>	<氏名等>	<住所>
元市農業委員会会長	有村四男	都町	建設業を通じて地域社会に貢献	丸日英隆	網津町
市農業委員会委員	薬師寺しげ子	湯島町	"	有村義郎	西開聞町
元薩摩川内市商工会会長	今藤尚一	入来町	薩摩地区獣医師会会長	桑原貴久雄	東大小路町
薩摩川内市建設業協会会長	宇都充弘	御陵下町			
団体	鹿児島県建設業協会川内支部	(神田町)	団体	鹿児島県建設業協会飯島支部	(上飯町)
"	鹿児島県建設業協会宮之城支部	(さつま町)			

### 一般篤行部門

(敬称略)

<主な役職等>	<氏名>	<住所>
京都視覚障害者支援センター理事	松永信也	大津市

## 特別表彰

### 新型コロナウイルスワクチンの接種体制の構築などに尽力 (敬称略・順不同)

<団体名等>	<住 所>	<団体名等>	<住 所>
公益社団法人川内市医師会	(大小路町)	薩摩郡薬剤師会	(祁答院町)
公益社団法人薩摩郡医師会	(さつま町)	薩摩川内市歯科医師会	(宮崎町)
一般社団法人川内薬剤師会	(五代町)	鹿児島純心大学	(天辰町)

### 特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」の本市開催に尽力 (敬称略・順不同)

<団体名等>	<住 所>	<団体名等>	<住 所>
特定非営利活動法人 薩摩川内市スポーツ協会	(運動公園町)	薩摩川内市商工会	(入来町)
一般社団法人 鹿児島県バスケットボール協会	(鹿児島市)	株式会社薩摩川内市観光物産協会	(鳥追町)
一般社団法人鹿児島県空手道連盟	(鹿児島市)	薩摩川内市ホテル旅館組合	(白和町)
鹿児島県軟式野球連盟	(鹿児島市)	市比野・入来・祁答院・東郷ホテル 旅館組合	(樋脇町)
鹿児島県ホッケー協会	(鹿児島市)	鹿児島県飲食業生活衛生 同業組合薩摩川内支部	(鳥追町)
鹿児島県ウエイトリフティング協会	(入来町)	北さつま農業協同組合	(さつま町)
薩摩川内市バスケットボール協会	(宮内町)	川内市漁業協同組合	(港町)
薩摩川内市軟式野球連盟	(御陵下町)	甕島漁業協同組合	(里町)
薩摩川内市ホッケー連盟	(樋脇町)	川内市内水面漁業協同組合	(西方町)
薩摩川内市ウエイトリフティング協会	(入来町)	薩摩川内市食生活改善推進協議会	(祁答院町)
薩摩川内市スポーツ推進委員協議会	(入来町)	薩摩川内市地域女性団体連絡協議会	(入来町)
薩摩川内市48地区 コミュニティ協議会連絡会	(勝日町)	薩摩川内市高齢者クラブ連合会	(永利町)
社会福祉法人 薩摩川内市社会福祉協議会	(永利町)	公益社団法人鹿児島県 交通安全協会薩摩川内地区協会	(原田町)
公益財団法人 薩摩川内市民まちづくり公社	(東郷町)	公益社団法人鹿児島県バス協会 北薩地区貸切部会	(いちき串木野)
特定非営利活動法人 川内スポーツクラブ01	(運動公園町)	一般社団法人鹿児島県タクシー協会 川内支部	(鳥追町)
薩摩川内市校長会(小・中学校)	(平佐町)	九州旅客鉄道株式会社川内駅	(鳥追町)
川薩地区高等学校校長会	(御陵下町)	肥薩おれんじ鉄道株式会社	(八代市)
学校法人川島学園 れいめい中学校・高等学校	(隈之城町)	甕島商船株式会社	(いちき串木野)
鹿児島純心大学	(天辰町)	薩摩川内市花いっぱいまちづくり 推進協議会	(勝日町)
公益社団法人川内市医師会	(大小路町)	入来郷土会	(入来町)
薩摩川内市歯科医師会	(宮崎町)	樋脇ホッケー盛り上げ隊	(樋脇町)
川内商工会議所	(神田町)		

## 薩摩川内市民憲章

美しい自然と、古い歴史を誇りとするわたしたち薩摩川内市民は、  
 やさしくすれば、心はかよう。  
 はなしをすれば、だれでもわかる。  
 考えさえすれば、みちはひらける。  
 やりさえすれば、かならずできる。  
 という信条をもって  
 明るく豊かなまちをつくります。

平成17年1月1日制定

薩摩川内市民歌

### 輝け未来へ

作詞 星合 節子  
 作曲 吉俣 良

一、みどりあふれる 薩摩路に  
 希望をかざして 日が昇る  
 豊かな自然に 恵まれて  
 ふれあう市民の あたたかさ  
 ところどころ 通わせて  
 明日を拓く 薩摩川内

二、ひかり輝く 甌島  
 やさしく香る カノコユリ  
 育む文化や 産業も  
 歴史と共に 伸びてゆく  
 世紀 栄える ふるさとの  
 平和を願う 薩摩川内

三、まちを潤す 川内川  
 元気でゆこうと 呼びかける  
 こともおとなも いきいきと  
 未来へ夢を 翔かす  
 笑顔 明るく さわやかに  
 幸せ創る 薩摩川内

みどりあふれる 薩摩路に  
 希望をかざして 日が昇る  
 豊かな自然に 恵まれて  
 ふれあう市民の あたたかさ  
 ところどころ 通わせて  
 明日を拓く 薩摩川内

ひかり輝く 甌島  
 やさしく香る カノコユリ  
 育む文化や 産業も  
 歴史と共に 伸びてゆく  
 世紀 栄える ふるさとの  
 平和を願う 薩摩川内

まちを潤す 川内川  
 元気でゆこうと 呼びかける  
 こともおとなも いきいきと  
 未来へ夢を 翔かす  
 笑顔 明るく さわやかに  
 幸せ創る 薩摩川内

平成21年6月10日制定

## 薩摩川内市誕生20周年記念ロゴマーク



### 薩摩川内市誕生20周年

薩摩川内市の伝統行事である川内大綱引をモチーフに「綱」と「繋ぐ」をかけて次世代へ繋いでいく想いを込めました。

数字の2の中のイラストは「手と手を合わせてつなぐ」「市誕生20周年を迎えわくわくしている」という2つの意味を表し、波線は川内川を表しています。

特産品のキビナゴ、希少野生動植物種のベッコウトンボ、兜をあしらい、臥龍梅で20周年を迎え賑わう華やかさを表現しました。

ピンクは「人の活力」、青は「川内川と海」、緑は「豊かな自然」をイメージしています。  
(作者：越地成美さん)

## イベント出演者

- 1 木遣り唄（薩摩川内火けし保存会 木遣り隊 總隊）
- 2 お笑いライブ



キンボン



Everybody

(3) 広報薩摩川内掲載記事(令和6年1月通常版～令和7年3月通常版)

●思い出20年。あの時、薩摩川内

思い出20年。 vol. 1  
あの時、薩摩川内

このコーナーでは、今年の10月12日に薩摩川内市が誕生して20年の節目の年を迎えることから、広報薩摩川内などに掲載された写真により、本市のこれまでを振り返ります。

第1回目は、平成16年10月12日の開庁式の様子です。市町村合併前9自治体の市町村長や関係者、市民などたくさんの方が本庁の市民ひろばに集まり、薩摩川内市の誕生を祝いました。



▲開庁式の様子(広報薩摩川内No.1より)

この日は、新市の誕生にふさわしい、最高の天気だったみたいだつん。



思い出20年。 vol. 2  
あの時、薩摩川内

今回の写真は、設立当時、最も小さい地区コミュニティ協議会として発足した内川内地区コミュニティ協議会の設立総会の様子です。この地区コミュニティ協議会制度は、平成17年4月からスタートしました。

現在では、各地区コミュニティ協議会を核としたまちづくりが活発に展開され、複数の地区コミュニティ協議会が連携してイベントを実施するなど、お互いの魅力を引き出す広域的な活動も行われています。



▲設立総会の様子(広報薩摩川内No.14より)

各地区コミュニティ協議会の活動は、市民活動情報サイトで確認できるつん。



▲市民活動情報サイト

思い出20年。 vol. 3  
あの時、薩摩川内

今回の写真は、今年3月に開業20周年を迎えた九州新幹線と肥薩おれんじ鉄道の出発式の様子です。現在、薩摩川内大使を委嘱している木佐貴洋氏を1日駅長にお迎えし、川内駅周辺ではイベントが開催されるなど大変盛り上がりしました。



▲九州新幹線出発式の様子(川内駅)



▲肥薩おれんじ鉄道出発式の様子

※写真は、どちらも広報薩摩川内No.6より

木佐貴大使の他にも、たくさん薩摩川内大使を委嘱しているつん。



▲薩摩川内大使のご紹介

思い出20年。 vol. 4  
あの時、薩摩川内

今回の写真は、平成24年3月に入来小学校で行われた「宇宙桜」の植樹の様子です。この宇宙桜は平成20年にスペースシャトルで宇宙に運ばれた桜の種から育ったものでした。今年も入来小学校の校庭に花を咲かせました。



▲宇宙桜を植樹の様子  
※広報薩摩川内No.181より



▲現在の宇宙桜(令和6年3月撮影)

小さくてとてもきれいな桜の花だったつん



思い出20年。 vol. 5  
あの時、薩摩川内

今回の写真は、平成23年5月に蘭牟田池で開催された全国トンボ市民サミット薩摩川内大会の様子です。全国各地から延べ500人が参加しました。蘭牟田池は平成17年11月のラムサール条約登録から令和7年で20年となります。現在も祁答院地域のシンボルとして貴重な生態系や豊かな自然を市民一体となって守り、多くの観光客などでにぎわっています。



▲広報薩摩川内No.160より

九州で初めてラムサール条約に登録されたのは、蘭牟田池なんだつん



思い出20年。 vol. 6  
あの時、薩摩川内

今回の写真は、平成30年8月に鹿島町で開催された化石発掘体験会の様子です。甌島では、平成20年に県内で初めて恐竜の化石が発見されてから、さまざまな化石が相次いで発見されています。

現在は、毎月「化石プログラム」(体験型の講座)として、甌島の化石や地層について楽しく学ぶイベントを開催しており、令和7年4月の郷ミュージアムリニューアルオープンに向けて準備を進めています。



▲広報薩摩川内No.337より



▲郷ミュージアムホームページ

甌島の化石は約7,000万年も前の地層から、見つかったつん



●思い出 20 年。あの時、薩摩川内

思い出 20 年。 vol. 7  
あの時、薩摩川内

今回の写真は、平成 17 年 7 月にサンアリーナせんだいで開催した第 1 回薩摩川内市地域対抗バレーボール大会の様子です。A ブロックでは祁答院地域、B ブロックでは水引地区が初代優勝チームに輝き、大いに盛り上がりました。

今年度は 7 月 14 日(日)に「市誕生 20 周年記念事業 第 20 回地域対抗バレーボール大会」として開催します。どんな激戦が繰り広げられるのか楽しみです。



▲広報薩摩川内No.20より

今年も熱い戦いになりそうな予感だつん



思い出 20 年。 vol. 8  
あの時、薩摩川内

今回の写真は、平成 28 年にさつまぜんたい 350 ペジライフフェスタにて、「薩摩川内市 350 ペジライフ宣言」が行われたときの様子です。これは、「野菜を毎日 350 グラム以上食べて、健康でいきいきとした生活を送りましょう」という本市独自の取り組みです。

語呂合わせで、8 月 31 日は野菜の日、11 月 8 日はいい野菜の日として、年間を通して野菜を食べてもらおう活動を賛同団体などと実施しています。



▲広報薩摩川内No.294より



▲ホームページ

野菜をおいしく、手軽に食べるためのちょっとした工夫を紹介しているから、見てみてつん。



思い出 20 年。 vol. 9  
あの時、薩摩川内

今回の写真は、平成 20 年 5 月に川内まごころ文学館の入館者数が 5 万人を達成したときの様子です。

川内まごころ文学館は平成 16 年に開館し、今年で 20 周年を迎えました。令和 7 年は本市で生まれ、川内川改修工事に尽力した山本賢彦の生誕 140 周年を記念し、特別企画展が予定されています。



▲広報薩摩川内No.88より

5 万人目の入館者は、当時平佐西小学校 4 年生の児童だったつん。



思い出 20 年。 vol. 10  
あの時、薩摩川内

今回の写真は、平成 23 年に開催した仲よし音楽会の様子です。現在、小・中・義務教育学校の代表による合唱や器楽合奏、吹奏楽などの音楽会として、児童生徒が音楽を発表し合うことを通じて、心の交流を図り、学校生活を楽しく豊かなものにするを目的に毎年開催しています。



▲広報薩摩川内No.150より

今年度は以下の日程、場所で開催だつん。

- ① 甌島区域  
10 月 23 日(水) 海皇中学校
- ② 川内、東郷地域  
10 月 30 日(水) S S プラザせんだい
- ③ 桶路、入来、祁答院地域  
11 月 14 日(木) 入来文化ホール



思い出 20 年。 vol. 11  
あの時、薩摩川内

今回の写真は、平成 23 年に青瀬小学校で開催した竜宮文化フェスタの様子です。甌大橋の開通を機に令和 4 年度からは「こしきしま竜宮文化フェスタ」に改称し、甌島の魅力が詰まったイベントとして開催しています。

今年度は 11 月 24 日(日)に手打小学校で開催します。農林水産品や島内の店舗による飲食品の販売のほか、郷土芸能などが披露されます。



▲広報薩摩川内No.173より

抽選会では地元の特産品が当たるチャンスだつん。



思い出 20 年。 vol. 12  
あの時、薩摩川内

今回の写真は、平成 26 年 1 月に西開聞町の川内川河川敷で開催した消防出初式の様子です。消防職員や消防団など約 1,200 人が参加しました。

毎年、消防隊による分列行進や優良分団などの表彰、消防団、消防局、火けし保存会による演技などを行っています。今年度は、令和 7 年 1 月 5 日に上甌グラウンド(上甌会場)、長浜緑地公園(下甌会場)、令和 7 年 1 月 11 日に西開聞町の川内川河川敷(本土会場)で開催予定です。



▲広報薩摩川内No.223より

大迫力の一斉放水などもあるんだつん。



● 思い出 20 年。あの時、薩摩川内

**思い出 20 年。** vol.13  
**あの時、薩摩川内**

今回の写真は、平成 17 年 1 月に川内文化ホール(現センノオト)で開催した本市誕生後初めての成人式の様子です。当時成人を迎える約 1,000 人が集いました。

今回の二十歳のつどいに参加される皆さんは、本市と同年で、式典は 1 月 12 日(日)に S S プラザさんだいで開催します。今年は約 900 人が 20 歳を迎えます。



▲広報薩摩川内No. 8より



今年の二十歳のつどいの実行委員長に話を聞いてみたつん。



◀ 広報薩摩川内  
11 月 通常版  
人となりに

**思い出 20 年。** vol.14  
**あの時、薩摩川内**

今回の写真は、平成 19 年 3 月に開通した南九州西回り自動車道の薩摩川内郡 I C～串木野 I C 間の開通式の様子です。

この道路が完成し、鹿児島市から本市を経て熊本県八代市まで 1 本でつながることで、未開通前と比べて約 2 時間の短縮になります。現在は鹿児島市から薩摩川内水引 I C まで開通しており、早期完成に向けて国への事業協力と要望活動を継続的に実施しています。



▲広報薩摩川内No.59より



災害時の避難などにも大切な役割を担う重要な道路なんだつん。

**思い出 20 年。** 最終回  
**あの時、薩摩川内**

今回の写真は、平成 17 年 2 月に開催した薩摩川内市誕生記念式典の様子です。1,500 人が参加した市誕生を祝う市中パレードや、小中学生の希望あふれる未来へのメッセージなど、本市の誕生を市民一体となって祝いました。

市誕生 20 周年を迎えた令和 6 年度、さまざまなイベントなどを通して、市民の皆さんと共に祝いしてきました。21 年目からも、世代を超えて笑顔でつながり、楽しい集いのまち薩摩川内市の実現のため、さまざまな取り組みを実践していきます。



▲広報薩摩川内No.10より



このコーナーと一緒に 20 年を振り返ることができて楽しかったつん。これからもたくさん思い出作っていきましょう！



20th ANNIVERSARY  
薩摩川内市誕生20周年

## 市長と振り返る 薩摩川内市誕生20周年

vol. 1



このコーナーは薩摩川内市誕生20周年を迎え、川薩地区法定合併協議会事務局長として市誕生をけん引した田中市長だからこそ話せる当時のエピソードなど、これまでを振り返りながら、記念事業の見どころなどについて連載していきます。

**市町村合併に業務として携わることになったときは、どのような気持ちでしたか。**

**市長** 市町村合併の話聞いた当時は、川内市役所都市計画課の課長でした。大変な仕事が始まるなど他人事で、まさか私が事務局長を任されるとは想定外でした。しかし、過去に10年間広域行政を担当していたこともあり、8町村には知り合いも多かったので、あまり抵抗はなかったですね。

**当時を振り返り、印象深い出来事などを教えてください。**

**市長** 合併とは、自治体刷新、革命です。県内初ということで、先例がないので先頭走者の孤独、裏を返せば新しさを作り上げていくやりがいがありました。9市町村長、9議会の全合意が必要であるため心配もありましたが、悩んでいる暇はなかったです。新市誕生の平成16

年10月12日は絶対にずらすことができないので、合言葉は**締め切り厳守**でした。

**同僚たちとの思い出はありますか。**

**市長** 合併業務は、4人でスタートし、最終的には102人の体制になりました。広いフロアに集まって仕事をしていたので、ハンドマイクを使って毎日の朝礼。休む間もない大変なプロジェクトだったけれど、振り返れば充実した楽しい毎日でしたね。

今回は、市町村合併の先頭走者として、苦労しながらも歴史に残ることを任されたやりがいを話してくれた田中市長。次回は、薩摩川内市への思いや、いよいよスタートする20周年記念事業の見どころなどに迫ります。

### 締め切り厳守



▲当時の執務室の様子

**問合せ先** 本庁秘書広報課  
企画総務・広聴広報G  
(内線 4122)



20th ANNIVERSARY  
薩摩川内市誕生20周年

## 市長と振り返る 薩摩川内市誕生20周年

vol. 2



今月は、いよいよスタートする20周年記念事業の見どころなどについてインタビューしていきます。

**市誕生20周年記念事業の見どころを教えてください。**

**市長** 全部見どころです！  
**何よりも楽しく**しなくてはいいなと思っています。アフターコロナで交流が復活してきている今、全市民、全世代、県内外、国内外の人が本市の20周年記念事業を楽しんでほしいということが1番の意気込みです。ミュージックフェスなどの若者が楽しめるイベントもあるので、多くの人と一緒にお祝いしたいです。

**20周年記念事業に若者が楽しめるイベントもあるとのことですが、日常的に若者が集まるまちにするために、どのようなことをしていきたいですか。**

**市長** 若者の意見を聞きたいです。高校生の意見を聞くことができる。みらいアドバイザーが本庁にいい機会になっていると思います。実際



▲薩摩川内市誕生20周年イベント市ホームページ

に、「若者が集まって話をしたり、勉強をしたりする場所があったら良いのでは」という提言があつて、まさにその通りだなと。若者をついても見掛ける、そんなまちにしたいです。

今回は、これからの本市のことなどを考えるにあたって、若者ともっと話をしたいという市長の思いを知ることができました。次回は、そんな市長の描く未来に迫ります。

※本市では、持続可能で魅力的なまちづくりの推進にあたって、高校生の視点から意見・助言を求めため、薩摩川内市みらいアドバイザーを設置しています。

### 何よりも楽しく！



▲みらいアドバイザーが提言している様子

**問合せ先** 本庁秘書広報課  
企画総務・広聴広報G  
(内線 4122)



市長と振り返る  
薩摩川内市誕生20周年

vol. 3



令和4年5月にSDGs未来都市に選定されて2年が経過します。そこで今月は、さまざまなSDGsの取り組みを実践する本市において、市長がどのようなことを意識しているかなどについて、インタビューしていきます。

市長が思い描く未来の実現のためにどのようなことを意識していますか。

市長 誰一人取り残さない、持続可能を意識するということが、私が買っている考え方です。

誰一人取り残さないという考え方でいうと、イベントは大きい小さい、近い遠いは関係なく行くようにしています。そうすることで市民の皆さんと会場で直接対話することができず、時間は掛かるけれど、この手間暇を惜しむことはできません。

持続可能という視点では、イベントなども後世に伝承しなければいけないと思っています。川内大綱引がよい例です。子供大綱引を通して、子どもたちに伝えることができますから。

市民に意識してほしいことや取り組んでほしいことなどはありますか。

市長 まずは、環境配慮や資源循環。これからますます必要になってきます。あったらしか(も)つたいな

誰一人取り残さない

持続可能性



▲生涯学習フェスティバルの様子



▲SDGs未来都市について

問合せ先  
本庁秘書広報課  
企画総務・広聴広報G  
(内線 4122)

今回は、SDGsの観点から市長の考えを聞き、これからの未来を考えて、一人一人が意識して行動しなくてはならないと感じました。次回は、防災についての市長の考えに迫ります。

い( )という意識を持っていただけるとうれしですね。あとは、人口減少が進んでいる中で、みんなで寄り添い、助け合っしてほしいです。人口が減少するほどコミュニケーションを取って、互助という仕組みがさらに大事になってくると思います。お互いがお互いを取り残さないようにしてほしいですし、今こそコミュニティ力を取り戻す時期にあると思います。



市長と振り返る  
薩摩川内市誕生20周年

vol. 4



いつ起こるか分からない災害。これからの季節は梅雨や台風などをきっかけに災害が起こり得ることも考えられます。そこで今月は、防災についての市長の考えをインタビューしていきます。

市長の防災に対する意識や心掛けていることを教えてください。

市長 24時間365日、常に防災の意識を持っていきます。携帯電話は、夜中でも通知が来たらすぐに確認ができるように、肌身離さず持っています。

大雨や台風が接近するときなどは、災害が起こる前に率先して市役所に登庁し、即対応できるようにしています。市民の皆さんへ情報を少しでも早く届けることができるように情報収集などを行うことができます。防災無線を使って私の声で伝えることもできますから。令和3年8月から市公式LINEを導入したことで、瞬時に情報を提供できるようになりました。

防災に関して、市民へメッセージをお願いします。

市長 まずは「自助」、自分の身は自分で守るという意識、次は「共助」、助け合う、支え合う、声を掛け合うという意識が大切です。

寄り添い 守る



▲防災点検の様子

問合せ先  
本庁秘書広報課  
企画総務・広聴広報G  
(内線 4122)

今回は、防災に対する市長の意識や、自助、共助のために私たちがどのようなことを意識しておくべきかなどが分かりました。次回は、市長が思う本市の魅力に迫ります。

あとは、最近では地震や線状降水帯などの突発的な災害が多くなっています。防災マップを更新し、全世帯配布などの防災における啓発の改善を行っていますので、避難場所や危険な場所などを知っていただいて、自助や共助のために役に立ててもらいたいと思います。

「誰一人取り残さない」持続可能( )という意識のもと、「寄り添い、守る」姿勢で、防災にも一緒に取り組んでいけたらと思っています。

●市長と振り返る薩摩川内市誕生20周年



市長と振り返る  
薩摩川内市誕生20周年

vol. 5



今月は、市長が思う本市の魅力やふるさと自慢をインタビューしていきます。

市長が思う本市の魅力教えてください。

市長 「海、山、川、湖」という多種多様な自然や食を一つの市で**全部楽しみ、味わうことができる**のは、本市の魅力だと思います。象徴的なものだと、やはり川内川ですね。市街地の真ん中に国道3号があり、新幹線が通って、大きな川が流れている。川内川花火大会などのイベントを川の両サイドから見ることができるところはなかなかないと思います。

あとは、神話や歴史的な文化遺産、最新の半導体まで、時間軸の長さを語ることができるといっても魅力の一つだと思います。

市長 **アピールしたいふるさと自慢はありますか。**

交流拠点施設が多いことですね。例えば、駅直近のSSプラザせんだいや九州電力の薩摩川内複合施設センノオト、総合運動公園などは、市外の方も来やすいですし、子育て層を中心とした親子三世代が「集い、楽しみ、くつろぎ、学べる」空間になっていると思います。新幹線も当たり前に思っているけれど、県内に3駅しか停車しないんですよ。人が来てもらえる、私たちも利用できるという分かりやすい自慢です。



楽しみの循環

▲川内川花火大会の様子

本庁秘書広報課  
企画総務・広聴広報G  
(内線 4121)

問合先

アバターコロナの今からは、市誕生20周年の年を機に、より多くの人がこの環境をアピールして、市民の方ももちろん、市外の方にも本市を訪れてもらい、楽しんでもらって、**楽しみの循環**を作っていくたいと考えています。

今回は、市長のふるさと自慢をインタビューし、当たり前に見ているものを当たり前ではないと気付いてこそ、ふるさと自慢ができるのではないかと感じました。

次回は、「薩摩川内市」という名称決定の経緯に迫ります。

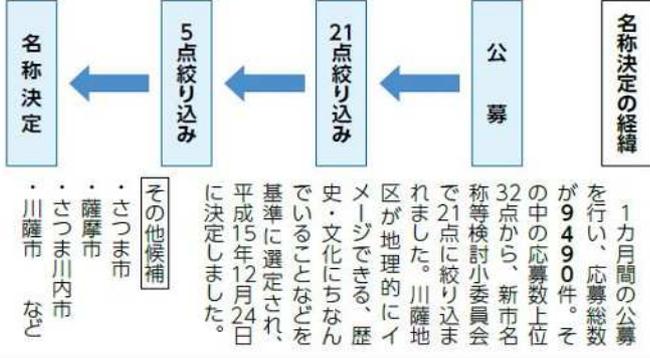


市長と振り返る  
薩摩川内市誕生20周年

vol. 6



今月は、「薩摩川内市」の名称が決定したときの当時の気持ちをインタビューしました。



新市名称が決まったときの気持ちと、決まる前との気持ちの変化を教えてください。

市長 まずは、9490件と多くの応募があり、多くの市民の方々に関心を持ってもらえたことをとてもうれしく感じました。

そして、改めて「新市が誕生するのだ」という実感が一気に湧きましたね。同時に、**3年間合併協議を行ってきた集大成**だとも思いました。9つそれぞれの市町村民10万人以上がこれから「薩摩川内市」という名称を名乗っていくのです。いよいよ1つになるんだと、名称が決まる前より一体感を強く感じたことを覚えています。

合併協議の集大成



▲9市町村の協議により新市名称が決定(平成15年12月)

本庁秘書広報課  
企画総務・広聴広報G  
(内線 4121)

問合先

#### (4) 市誕生 20 年の歩み

##### ■ 2004(平成 16 年)

- 10 月：薩摩川内市誕生
- 11 月：森卓朗初代市長・新市議会議員が選出

##### ■ 2005(平成 17 年)

- 1 月：市章・市民憲章を制定
- 2 月：市誕生記念式典/市木・市花・市鳥・市魚制定
- 3 月：市政改革大綱・同改革アクションプランを決定
- 4 月：市内 48 地区すべてにコミュニティ協議会設立  
入来支所内に市農業公社設立  
市男女共同参画基本条例施行
- 6 月：第 1 次市総合計画基本構想が議決
- 7 月：定住促進制度開始(市内定住住宅取得補助・新幹線通勤定期購入補助)
- 8 月：市安全・安心まちづくり条例施行
- 11 月：東部消防署祁答院分署落成  
藺牟田池がラムサール条約湿地に登録



##### ■ 2006(平成 18 年)

- 1 月：子育て支援を仲介するファミリー・サポートセンターを開所
- 2 月：第 1 次市総合計画・基本計画決定
- 4 月：市地域包括支援センター開設  
首相官邸で小泉純一郎元首相が森市長に小中一貫教育特区認定書を授与  
川内大綱引が県指定無形民俗文化財に指定
- 7 月：川内川が氾濫・豪雨水害
- 9 月：県民体育大会川薩大会開催。  
2 日目は台風 13 号の影響で中止

- 10 月：河川激甚災害対策特別緊急事業(激特事業)に採択
- 11 月：林田バス廃止に伴い、新たなコミュニティバスを南国交通に委託し運行開始
- 12 月：市定住支援センター「薩摩川内よかまち・きやんせ俱樂部」を開設

##### ■ 2007(平成 19 年)

- 2 月：藺牟田瀬戸架橋事業着手式を開催
- 3 月：南九州西回り自動車道の薩摩川内都 IC～串木野 IC 開通
- 4 月：県立川薩清修館高等学校開校
- 6 月：京セラ(株)鹿児島川内工場増設の立地協定締結
- 10 月：川薩広城農道「川薩グリーンロード」が完成
- 12 月：北部循環バスの運行開始

##### ■ 2008(平成 20 年)

- 1 月：文化審議会が東郷文弥節人形浄瑠璃を重要無形民俗文化財に答申(3 月指定)



- 4 月：中心市街地活性化を目指して、(株)まちづくり薩摩川内設立
- 10 月：市自治基本条例及び市議会基本条例施行  
本庁・甕島地域 4 支所を結ぶ光ケーブルが開通  
ねんりんピック鹿児島 2008 開催
- 11 月：岩切秀雄市長が就任/副市長 2 人制を導入

##### ■ 2009(平成 21 年)

- 3 月：県立樋脇高等学校・入来商業高等学校が高等学校再編で閉校/私立川内純心女子高等学校閉校
- 4 月：市内の全小・中学校で小中一貫教育を開始

- 市シティセールス推進本部を  
設置
- 5月：市ブランドロゴマーク「薩摩  
川内スピリッツ」決定



- 6月：市民歌「輝け未来へ」を制定  
甑島で恐竜の化石発見
- 7月：甑島縦貫道の青瀬トンネルが  
貫通
- 9月：甑島縦貫道の蘭牟田瀬戸1号  
トンネルが貫通  
甑島のトシドンがユネスコ無  
形文化遺産に登録
- 10月：市制施行5周年記念式典を開  
催

#### ■ 2010(平成 22年)

- 3月：第1次市総合計画「基本構想」  
1部変更及び「下期基本計画」  
を策定
- 4月：ボンネットバス運行開始  
市ゴールド集落活性化条例施  
行  
子ども医療費助成制度開始  
(県内初)
- 5月：市家畜伝染病対策本部(口蹄疫  
対策本部)を設置
- 7月：川内川向田地区堤防の質的強  
化対策工事の完了  
入来地域デマンド交通(事前  
予約型乗合タクシー)実証運  
行開始
- 9月：全日本女子バレーボールチー  
ムが合宿
- 10月：緊急消防援助隊九州ブロック  
合同訓練  
防災行政無線戸別受信機の設  
置開始  
韓国定期コンテナ船「週2便  
化」

#### ■ 2011(平成 23年)

- 2月：薩摩川内スピリッツ・きやん  
せ博覧会(愛称:きやんぱく)  
スタート(2月~11月)

- 3月：東日本大震災発生(3月以降、  
消防局・水道局等職員を被災  
地へ派遣)  
九州新幹線全線開業  
一般県道手打蘭牟田港線(手  
打バイパス)開通
- 4月：「ぽっちゃん計画」プロジェク  
ト開始  
観光船「かのこ」就航



- 5月：第22回全国トンボ市民サミッ  
ト薩摩川内大会開催
- 8月：薩摩川内市常熟市友好都市締  
結20周年式典(於：本市、10  
月常熟市)
- 9月：産業廃棄物管理型最終処分場  
の整備工事着手(4月に環境  
保全協定締結)
- 10月：新エネルギー対策プロジェク  
トチーム発足・新エネルギー  
対策課新設  
都市計画道路中郷五代線整備  
事業に着手
- 11月：蘭牟田瀬戸3号トンネル(中  
甑島)の貫通  
長崎堤防(高江町)「土木遺産」  
に認定

#### ■ 2012(平成 24年)

- 3月：市内324箇所に津波看板を設  
置
- 4月：川内汚泥再生処理センター供  
用開始  
甑地域コミュニティバス運行  
開始
- 5月：本市と韓国昌寧郡との友好都  
市協定の締結
- 8月：富士通インテグレートッドマ  
イクロテクノロジー(株)(FIM)  
の譲渡(閉鎖)発表
- 11月：市スポーツ交流研修センター  
供用開始

### ■ 2013(平成 25 年)

- 1 月：東郷地域デマンド交通「ゆったり号」運行開始
- 2 月：買物不便地域支援モデル事業開始
- 3 月：コミュニティ放送局「FM さつませんだい」開局  
南九州西回り自動車道(薩摩川内高江 IC～薩摩川内水引 IC)開通  
住民票写し等のコンビニ店舗での交付(県内初)  
「サンアリーナせんだい」がバレーボール強化センター(リオ五輪)に認定  
市次世代エネルギービジョン・行動計画を策定
- 4 月：(株)薩摩川内市観光物産協会設立  
旧増田家住宅(入来町)公開
- 5 月：全国伝統的建造物群保存地区協議会総会・研修会開催  
花いっぱいまちづくり推進協議会の設立
- 7 月：「長目の浜」を景観法に基づく「準景観地区」に指定



- 8 月：中国定期コンテナ経路・神戸国際フィーダーコンテナ航路開設
- 10 月：国主催の原子力総合防災訓練実施(福島原発事故後、初めての国主催の事業)
- 12 月：薩摩中央家畜市場の子牛取引平均価格が過去最高値を更新(全国上位)

### ■ 2014(平成 26 年)

- 2 月：花いっぱいマスコットキャラクター決定  
中越パルプ工業(株)と立地協定(木質バイオマス発電所建設)

- 3 月：九州新幹線・肥薩おれんじ鉄道開業 10 周年記念式典
- 4 月：高速船「甌島」就航・大型電気路線バス(全国初)運行開始
- 5 月：川内港韓国定期コンテナ航路開設 10 周年記念式典
- 6 月：川内駅開業 100 周年記念式典
- 7 月：市消防庁舎移転(中郷町)
- 10 月：市政施行 10 周年記念式典を開催
- 11 月：初代市長の森卓朗氏と元国務大臣故松下忠洋氏に名誉市民称号記贈呈
- 12 月：旧増田家住宅が国の有形文化財に指定



### ■ 2015(平成 27 年)

- 3 月：甌島国定公園指定  
南九州西回り自動車道開通(川内高江 IC～薩摩川内都 IC)
- 4 月：スマコミライト導入  
第 2 次市総合計画策定  
女優の柴田美咲さんに地域おこし協力隊見習い隊員を委嘱
- 8 月：台風 15 号襲来。長引く停電
- 9 月：川内原子力発電所 1 号機運転再開
- 10 月：国民文化祭・かごしま 2015 開催。皇太子殿下行啓。  
(株)薩摩川内市観光物産協会が(株)まちづくり薩摩川内が合併
- 11 月：電気自動車の蓄電池を再利用した大型蓄電設備と太陽光発電が甌島の旧浦内小学校に完成  
中越パルプ工業(株)川内工場  
で国内最大級の木質バイオマス発電設備が本格稼働  
川内原子力発電所 2 号機運転再開

藺牟田池のラムサール条約湿地登録 10 周年記念イベントを開催

#### ■ 2016(平成 28 年)

- 1 月：市立小・中学校の再編等に関する第 2 次基本方針を策定  
消防救急デジタル無線の運用開始
- 3 月：天辰寺前古墳公園が開園  
川内駅次世代エネルギー発電設備が完成
- 4 月：熊本地震発生(消防局・一般行政職員などを被災地へ派遣)
- 8 月：常熟市と港湾貿易及び観光促進に関する協力協定を締結
- 9 月：市 350 ベジライフ宣言  
子ども医療費助成対象年齢を 18 歳まで拡充  
台湾定期コンテナ航路が開設
- 10 月：バイオマス産業都市地域認定
- 11 月：川内とれたて市場がオープン



#### ■ 2017(平成 29 年)

- 3 月：藤川小学校、南瀬小学校、鳥丸小学校、山田小学校が閉校
- 4 月：樋脇グラウンド・ゴルフ場オープン  
少年自然の家来場者 100 万人達成
- 5 月：韓国昌寧郡との友好都市締結 5 周年記念式典を開催
- 7 月：少年自然の家開所 30 周年記念式典
- 8 月：市女性活躍推進協議会設立とイクボス推進宣言
- 9 月：鹿島で交通死亡事故ゼロ 25,000 日達成記念式典を開催  
南九州西回り自動車道「阿久根川内道路」市現地対策本部を設置

- 10 月：東郷学園義務教育学校の安全祈願祭を実施  
市内に居住する小学生以下と中学 3 年生・高校 3 年生のインフルエンザ予防接種費用の一部助成
- 11 月：川内港開港 30 周年記念式典を開催  
川内港から中国常熟港へ直行便による木材輸出が開始  
薩摩川内観光物産キャラクター「西郷つん」誕生
- 12 月：薩摩国シティセールス大学開校

#### ■ 2018(平成 30 年)

- 3 月：高江中学校、朝陽小学校、大馬越小学校、陽成小学校が閉校  
市総合防災センターが開所
- 4 月：幼児教育無償化の一部を先行実施
- 9 月：本土地域 4 支所の業務見直しと 3 出張所を廃止
- 10 月：薩摩川内市企業連携協議会が事業協同組合として法人化  
南九州西回り自動車道「阿久根川内道路」の阿久根 IC から薩摩川内水引 IC 間の工事着手
- 11 月：「来訪神：仮面・仮装の神々」ユネスコ無形文化遺産登録(2009 年登録の「甕島のトシドン」の拡張登録)
- 12 月：川内駅コンベンションセンターの工事着手

#### ■ 2019(令和元年)

- 3 月：東郷小学校、東郷中学校が閉校
- 4 月：東郷学園義務教育学校が開校



- 5月：「薩摩の武士が生きた町～武家屋敷群『麓』を歩く～」が日本遺産認定(入来麓、里麓、手打麓)  
市内小・中学校の普通教室に空調設備整備を開始
- 6月：赤ちゃんの駅登録開始
- 7月：全国高校総合体育大会のバスケットボール競技をサンアリーナせんだいで実施
- 8月：元川内商工会議所会頭田中憲夫氏に名誉市民称号記を贈呈
- 10月：川内川高潮対策事業の工事着手
- 11月：重要港湾川内港 30年ぶりの港湾計画改訂

#### ■ 2020(令和2年)

- 3月：新型コロナウイルス感染症による市内小・中学校・義務教育学校の一斉臨時休校(5月まで)
- 4月：第2次市総合計画策定後期基本計画を策定  
新型コロナウイルス感染症対策に対する緊急事態宣言
- 6月：入来神舞が県の無形民俗文化財に指定
- 7月：記録的な大雨により豪雨災害が発生
- 8月：県内最長の甑大橋が開通



- 9月：台風10号接近。鹿島町で県道が崩落し断水発生。甑大橋開通により上甑島から給水車を派遣
- 10月：映画「大綱引の恋」の鹿児島先行公開。川内文化ホールで特別上映会を開催
- 11月：田中良二市長が就任  
都市計画道路「中郷五代線」(延長1,100メートル)が開通
- 12月：南九州西回り自動車道「阿久

根川内道路」の(仮称)湯田西方ICから薩摩川内水引ICの着工式を実施

#### ■ 2021(令和3年)

- 1月：川内駅コンベンションセンター「SSプラザせんだい」がオープン
- 3月：新型コロナウイルス感染症のワクチン接種開始  
唐浜地区国際物流ターミナル整備事業が国管轄の新規事業に採択  
川内文化ホール閉館  
薩摩川内市みらいアドバイザー政策提言発表会を開催
- 4月：東京2020オリンピック聖火リレー  
青瀬あいのり交通の運行開始
- 6月：市未来創生SDGs・カーボンニュートラル宣言
- 7月：大雨による豪雨災害発生。広報薩摩川内災害特別号を発行  
男子バレーボールアルゼンチン代表とベネズエラ代表チームが事前キャンプを実施
- 8月：川内駅コンベンションパークグランドオープン



市公式LINEを導入し広報活動を実施

- 10月：甑島振興局開庁。東部区域と甑島区域を担当する次長を配置
- 11月：2021かごしまお茶まつりin薩摩川内を開催  
令和コミュニティトークを開始  
令和デザイントークを開始

#### ■ 2022(令和4年)

- 3月：川内港が「ポート・オブ・ザ・イヤー2021」を受賞  
市内全域の光ファイバ網が完成
- 4月：本庁組織機構を変更  
川内港国際物流ターミナル着工式を開催
- 5月：国のSDGs未来都市に選定
- 6月：令和プロテクト・トークを設置
- 7月：第3次総合計画の策定に向けた市まちづくりデザイン会議を設置
- 8月：網津トンネル安全祈願祭が開催
- 10月：全国和牛能力共進会が鹿児島県で開催  
大小路地区引堤事業及びかわまちづくり整備事業完成式典の開催



### 2023(令和5年)

- 1月：川内港久見崎みらいゾーンの分譲予約開始
- 4月：入来麓交流館が開館  
上甑ほのぼの交通が運行開始
- 5月：新型コロナウイルス感染症5類移行  
甑島に外国籍クルーズ船初寄港  
下甑支所、仮庁舎移転
- 6月：令和エコノミートークを設置
- 7月：産業人材確保・移住定住戦略協議会設立  
全国高等学校総合文化祭開催(書道部門、吟詠剣詩舞部門)
- 8月：かごしま国体「炬火イベント」を実施
- 9月：デジタル地域通貨「つん Pay」運用開始

- 10月：特別国民体育大会、特別全国障害者スポーツ大会開催  
下甑歯科診療所を長浜診療所に移転
- 11月：九州・台湾クリエイティブウィーク in 薩摩川内を開催
- 12月：川内原子力発電所の運転期間延長容認を市長表明

### 2024(令和6年)

- 1月：川内原子力発電所に関する市民セミナー開催
- 2月：高城産業用地1工区を京セラ(株)へ分譲決定
- 3月：川内大綱引が国の重要無形民俗文化財に指定



黒木小学校、蘭傘田小学校、上手小学校、大裏小学校が開校

- 4月：市こども家庭センター開設  
高速船就航10周年記念セレモニー開催  
祁答院小学校が開校  
川内港国際定期コンテナ航路開設20周年記念式典開催  
センノオト開業
- 5月：令和6年能登半島地震被災地に職員を派遣
- 7月：YouTube番組「コネクト! さつまませんだい」配信開始  
「結 Line こしき」命名・進水式開催
- 8月：第3次総合計画基本構想が議決
- 9月：キッズゾーン設置  
全国市町村交流レガッタ薩摩川内大会開催
- 10月：市誕生20周年記念式典を開催

## (5) 数字で見る薩摩川内市

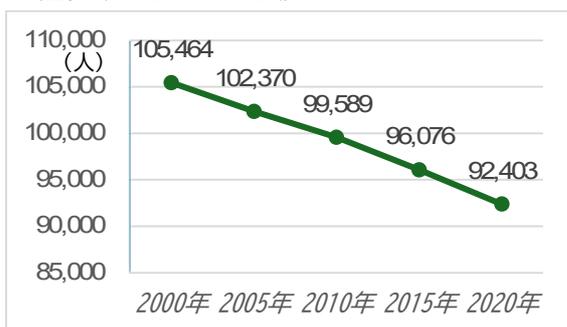
### ●薩摩川内市の人口推移

	2000 平成 12 年	2005 平成 17 年	2010 平成 22 年	2015 平成 27 年	2020 令和 2 年
人口	105,464 人	102,370 人	99,589 人	96,076 人	92,403 人
世帯数	41,648 世帯	41,387 世帯	41,449 世帯	40,686 世帯	40,995 世帯
1 世帯平均人数	2.5 人	2.5 人	2.4 人	2.4 人	2.3 人
就業者数	49,102 人	47,183 人	44,886 人	44,892 人	42,755 人
就業者割合	46.6%	46.1%	45.1%	46.7%	46.3%
就業者数(男)	28,221 人	26,642 人	25,255 人	24,980 人	23,482 人
	57.5%	56.5%	56.3%	55.6%	54.9%
就業者数(女)	20,881 人	20,541 人	19,631 人	19,912 人	19,273 人
	42.5%	43.5%	43.7%	44.4%	45.1%
小学校数	-	47 校	45 校	34 校	26 校
小学校児童数	-	6,179 人	5,896 人	5,477 人	5,166 人

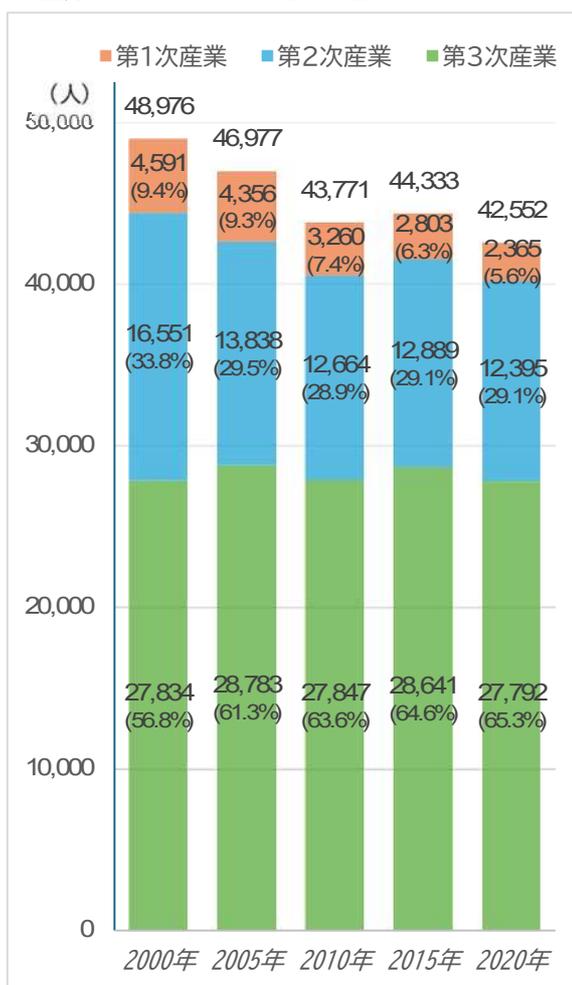
※人口、世帯数、就業者数は国勢調査の結果。

※児童数、学校数は統計さつまませんだいより。

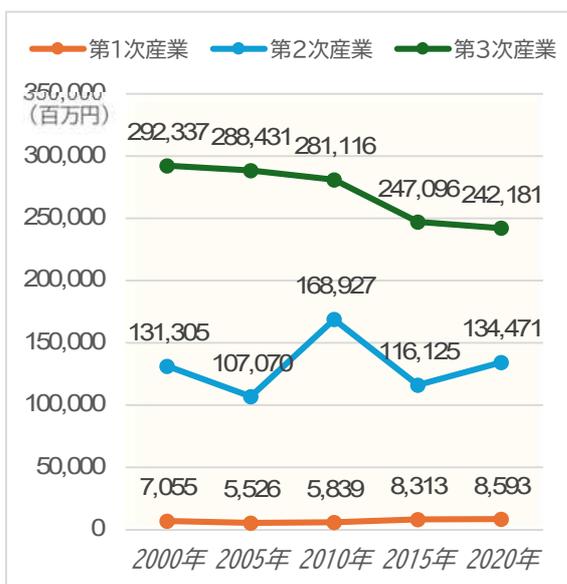
### ●国勢調査人口の推移



### ●産業別人口の動向(国勢調査)

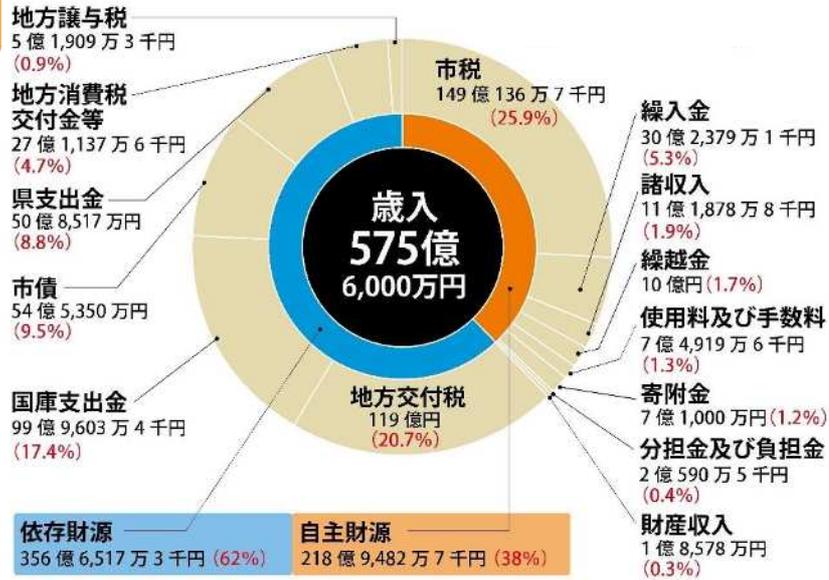


### ●市内総生産(市町村民所得推計)



●令和6年度予算の状況

歳入



市税の内訳



歳出(性質別)



歳出(目的別)



※端数調整により、数値が一致していない場合があります。

## (6) 薩摩川内市誕生 20 周年記念事業推進本部設置要領

(設置)

第 1 条 薩摩川内市誕生20周年記念事業(以下「記念事業」という。)を円滑に実施するため、薩摩川内市誕生20周年記念事業推進本部(以下「推進本部」という。)を設置する。

(所掌事務)

第 2 条 推進本部は、次に掲げる事務を所掌する。

- (1) 記念事業の実施に関すること。
- (2) その他記念事業の実施に必要な事項に関すること。

(組織)

第 3 条 推進本部は、薩摩川内市庁内会議規程(平成22年薩摩川内市訓令第 6 号)第 3 条第 1 項に規定する構成員をもって組織する。

- 2 本部長は、市長をもって充てる。
- 3 副本部長は、副市長及び教育長をもって充てる。

(本部長及び副本部長)

第 4 条 本部長は、推進本部の事務を総理する。

- 2 副本部長は、本部長を補佐し、本部長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第 5 条 推進本部会議は、本部長が必要と認めたとときに招集し、政策会議終了後開催する。

- 2 会議の議長は、本部長とする。
- 3 会議での審議事項は、政策会議に付議し審議されたものとみなす。
- 4 本部長は、必要があると認めたとときは、構成員以外の者を会議に出席させ、意見を聴取することができる。

(部会)

第 6 条 推進本部の下部組織として、薩摩川内市誕生20周年記念事業推進部会(以下「部会」という。)を置く。

- 2 部会は、別表に掲げる職にある者をもって組織する。
- 3 部会に部会長を置き、市誕生20周年記念事業担当課長をもって充てる。
- 4 副部会長は、部会員の中から部会長が指名する。
- 5 部会長は、部会を代表し、会務を総括する。
- 6 副部会長は、部会長を補佐し部会長に事故があるときは、その職務を代理する。
- 7 部会は、次に掲げる事務を所掌する。
  - (1) 記念事業の実施方針に関すること。
  - (2) 記念事業に関する各課との連絡調整に関すること。
  - (3) 記念事業の進捗管理に関すること。
  - (4) 市民提案事業の審査に関すること。

(事務局)

第 6 条 推進本部の事務を処理するため、未来政策部秘書広報課に事務局を置く。

(その他)

第 7 条 この要項に定めるもののほか、推進本部の運営に関し必要な事項は、本部長が別に定める。

附則

- 1 この要項は、令和 6 年 4 月 1 日から施行する。

別表

所 属 課 名	職 名
秘書広報課	市誕生 20 周年記念事業担当課長
秘書広報課	課 長
総 務 課	課 長
市 民 課	課 長
社会福祉課	課 長
農業政策課	課 長
経済政策課	課 長
観光物産課	課 長
建設政策課	課 長
教育総務課	課 長
社会教育課	課 長
経営管理課	課 長
消防総務課	課 長



▲令和6年4月1日推進本部設置

●薩摩川内市誕生20周年記念事業推進本部名簿

区 分	職 名	氏 名	備 考
本部長	市長	田中 良二	
副本部長	副市長	永田 一廣	令和6年11月19日まで
副本部長	副市長	古川 英利	令和6年11月20日から
副本部長	副市長	福元 一也	
副本部長	教育長	藤田 芳昭	
	未来政策部長	古川 英利	令和6年11月19日まで
	未来政策部長	下門 隆嗣	令和6年11月20日から
	行政管理部長	鬼塚 雅之	
	市民安全部長	上戸 理志	
	保健福祉部長	小柳津 賢一	
	農林水産部長	城之下 誠	
	経済シティセールス部長	有馬 眞二郎	
	建設部長	樋口 武士	
	消防局長	石原 浩之	
	教育部長	花木 隆	
	水道局長	今井 功司	
	議会事務局長	田代 健一	
	スマートデジタル監	喜山 雄介	令和6年6月30日まで
	未来政策部次長(東部)	下藪 伸一	
	未来政策部次長(甌島)	堂元 光信	
	市民安全部次長	遠矢 一星	
	保健福祉部次長	祁答院 欣尚	
	経済シティセールス部次長	石原 勝浩	
	建設部次長	大野 淳一	

## (7) 薩摩川内市誕生20周年記念市民協働事業補助金交付要領

(趣旨)

第1条 この要領は、薩摩川内市補助金等交付規則（平成16年薩摩川内市規則第67号。以下「規則」という。）第4条の規定に基づき、及び薩摩川内市補助金等基本条例（平成18年薩摩川内市条例第40号。）を実施するため、薩摩川内市未来政策部関係補助金等交付要綱（令和6年薩摩川内市告示第98号）第2条の表に掲げる市誕生20周年記念市民協働事業補助金に関し必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 市内の高校、大学、企業、地区コミュニティ協議会等が、薩摩川内市誕生20周年を祝い、本市の魅力を生かした事業を企画・実施し、その内容を市内外に情報発信することができる事業に対して、補助金を交付し、地域の活性化や今後の関係人口の創出に寄与することを目的とする。

(補助対象団体)

第3条 補助金の交付対象となる団体（以下「補助対象団体」という。）は、法人又は3名以上で組織しており、その構成員の半数以上が市民（在学、在勤）であり、活動の拠点と実体が市内にある団体とする。

2 前項の規定にかかわらず、次に掲げる団体は、補助の対象としない。

- (1) 宗教上の教義を広め、儀式行事を行い、又は信者を教化育成すること（以下「宗教活動等」という。）を目的とする団体
- (2) 特定の政党若しくは公職選挙法（昭和25年法律第100号）第3条に規定する公職にある者（候補者を含む。）を支持し、又は反対すること（以下「政治活動等」という。）を目的とする団体
- (3) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団員が構成員に含まれる団体若しくはその暴力団員の統制下にある団体
- (4) 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律（昭和23年法律第122号）第2条第5項に規定する性風俗関連特殊営業を営む者が構成員に含まれる団体

(補助事業の要件)

第4条 補助金の交付対象に係る補助事業等は、次の各号に定める要件を全て満たすものでなければならない。

- (1) 事業計画書の内容が、薩摩川内市誕生20周年記念事業実施方針に定める基本方針のいずれかに合致し、かつ、新たに企画して実施する事業
- (2) 本市で実施し、広く市民が参加できる事業
- (3) 令和7年3月末日までの間に実施し、完了する事業

2 前項の規定にかかわらず、次の各号のいずれかに該当する事業は、補助金の交付対象としない。

- (1) 営利を目的とする事業又は宗教活動等若しくは政治活動等に該当する事業

- (2) 国、地方公共団体又は民間団体等の他の制度による補助、助成又は委託を受けている事業
- (3) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団又はその利益となる活動を行っている者の利益になるおそれのある事業
- (4) 事業の実施による主たる効果が、市外で生じる事業
- (5) 事業の実施による効果の及ぶ範囲が、その団体の構成員に限定される事業
- (6) その他公序良俗に反する等、補助対象事業として適当でないと認められる事業（補助対象経費等）

第5条 補助の対象となる経費（以下「補助対象経費」という。）等は、次の表のとおりとする。

補助対象経費	補助対象団体	補助率	限度額
補助対象事業に要する経費のうち別表第1に掲げる経費とする。	市内の高校・大学生等が企画・運営する事業及びその事業に賛同した地元企業等	補助対象経費の3分の2	500千円
	地区コミュニティ協議会、市民団体等	補助対象経費の3分の2	300千円
	地元企業	補助対象経費の2分の1	200千円

2 前項の規定にかかわらず、次の各号に該当するものは、補助の対象としない。

- (1) 団体の構成員に対する人件費、謝礼等
- (2) 記念品、金券等の購入経費
- (3) 団体の構成員による会合の飲食及び親睦に要する経費
- (4) 団体の経常的な管理運営経費（事務所の賃借料、光熱水費等）
- (5) 不動産の取得等に要する経費

3 補助金の算出に当たり、1,000円未満の端数が生じるときは、これを切り捨てるものとする。

（補助対象事業の公募）

第6条 市長は、補助対象団体が実施する補助対象事業に関し、募集要項を定め募集するものとする。なお、募集要項には、補助対象事業の募集期間、審査方法及び審査基準等を記載するものとする。

2 補助対象団体は、前項の規定による募集に応募しようとするときは、市長が定める期日までに、次の各号に定める書類（以下「提案書」という。）を提出しなければならない。

- (1) 薩摩川内市誕生20周年記念市民協働事業補助金申込書（様式第1号）
- (2) 事業計画書（様式第2号）

- (3) 収支予算書（様式第3号）
- (4) 団体の概要が分かる資料
- (5) 団体構成員名簿
- (6) 事業の内容が分かる資料
- (7) その他市長が必要と認める書類

（補助対象事業の決定及び結果通知）

第7条 市長は、前条の規定による提案書の提出があったときは、別に定める薩摩川内市誕生20周年記念事業推進部会による書類審査を行い、補助対象事業を決定するものとする。

2 市長は、前項の規定による選考結果を、薩摩川内市誕生20周年記念市民協働事業補助金選考結果通知書（様式第4号）により、補助対象団体に通知するものとする。

（補助金の交付申請）

第8条 前条の規定により補助対象事業として決定通知を受けた補助対象団体は、市長に薩摩川内市誕生20周年記念市民協働事業補助金交付申請書（様式第5号。以下「交付申請書」という。）を提出しなければならない。

（補助金の交付決定）

第9条 市長は、交付申請書を受理したときは、その内容を審査し、補助金の交付をすることが適当であると認めたときは、速やかに当該補助金の交付を決定し、その旨を補助金等交付決定通知書（規則様式第4号）により、補助対象団体に通知するものとする。

2 市長は、補助金の交付決定をする場合において、補助金の交付目的を適正に達成するため必要があると認めるときは、必要な条件を付することができる。

（補助対象事業の内容変更）

第10条 補助金の交付の決定を受けた補助事業者は、当該補助金の交付決定を受けた補助対象事業の内容について変更しようとするときは、補助金等事業計画変更承認申請書（規則様式第5号）を市長に提出し、その承認を受けなければならない。

2 前項の承認は、補助金等変更決定通知書（規則様式第6号）もしくは補助金等事業計画変更承認通知書（規則様式第7号）により、当該補助事業者に通知するものとする。

（交付の基準）

第11条 補助金の交付は、次の各号のいずれかに該当する場合には、これを行わない。

- (1) 当該補助事業が第5条の要件を満たさない場合
- (2) 前号に掲げる場合のほか、当該補助事業者に補助金を交付することが適当でないと思われる場合

（補助金の実績報告）

第12条 補助金の実績報告に係る規則第15条第3号の市長が必要と認める書類は、次の各号に掲げるものとする。

- (1) 補助金等実績報告書（様式第6号）
- (2) 事業実績書（様式第7号）
- (3) 収支精算書（様式第8号）
- (4) 領収書又はその写し

- (5) 事業に関するパンフレット、チラシ、記録写真等の当該補助対象事業に関する資料
- (6) 前各号に掲げるもののほか、特に必要であると認められる書類

2 補助対象団体は、補助対象事業完了後20日以内又は補助対象事業年度の3月31日のいずれか早い日までに上記各号の書類を市長に提出しなければならない。

(補助金の額の確定)

第13条 市長は、実績報告書を受領したときは、関係書類の審査又は必要に応じて行う実地調査等により、その報告に係る補助対象事業の実績が補助金の交付決定の内容、これに付した条件及びその他市長が指示した事項に適合するものであるかどうかを調査し、適合すると認めたときは、当該交付すべき補助金の額を確定し、当該補助対象団体に通知するものとする。

2 前項の規定による通知は、補助金等確定通知書(規則様式第12号)により行うものとする。

(補助金の交付請求)

第14条 補助対象団体は、確定通知書を受領したときは、補助金の交付を請求することができる。

2 補助金の交付を請求しようとする補助対象団体は、薩摩川内市誕生20周年記念市民協働事業補助金請求書(様式第9号)により、市長に請求しなければならない。

(補助金の概算払)

第15条 補助金の交付決定を受けた補助対象事業について、補助金の概算払を受ける必要がある補助対象団体は、薩摩川内市誕生20周年記念市民協働事業補助金概算払申請書(様式第10号)により、市長に申請しなければならない。

2 市長は、前項の規定による申請を受領したときはその内容を審査し、補助金を概算払することが適当であり、かつ、財政経理上支障がないと認めたときは、当該補助金の交付決定額の範囲内において交付することを決定し、その旨を薩摩川内市誕生20周年記念市民協働事業補助金概算払決定通知書(様式第11号)により、補助対象団体に通知するものとする。

3 前条の規定は、補助金の概算払について準用するものとする。この場合において、同条第1項中「確定通知書」とあるのは「規則第16条第2項の規定による通知」と読み替えるものとする。

(補助金の交付)

第16条 市長は、第15条の規定により補助金の交付請求を受けたときは、速やかに補助金を交付するものとする。

(補助金の交付決定の取消し又は返還)

第17条 市長は、補助対象団体が次の各号のいずれかに該当する行為をしたと認めるときは、当該補助金に係る交付決定を取り消し、又は既に交付した補助金の全部又は一部の返還を求めることができる。

(1) 補助金をその目的以外の用途に使用したとき。

(2) 当該補助金の交付決定の内容、これに付した条件及びその他市長が指示した事項に違反する行為をしたとき。

(3) 交付申請書その他の関係書類に虚偽の記載をし、又は補助対象事業の実施について不正の行為をしたとき。

(4) 前各号に掲げるもののほか、この要領に定める事項に違反する行為をしたとき。

(その他)

第18条 この要領に定めるもののほか必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この要領は、令和6年4月1日から施行する。

別表（第5条関係）

区分	補助対象経費の種類
謝金	講師、出演者等への謝金等、団体の構成員以外の者に支払う経費等
旅費	講師、出演者等（団体の構成員を除く）の交通費及び宿泊費 等
消耗品費	事業用消耗品費（飲食にかかる食糧費等を除く）
印刷製本費	チラシ、ポスターなどの印刷にかかる経費
通信運搬費	実施事業に関する送料（案内通知、ポスター等の送付 等）
保険料	イベント・傷害保険料
委託料	会場設撤去業務委託、警備業務委託 等
使用料及び賃借料	会場使用料、車両借上料 等

編集 薩摩川内市誕生 20 周年記念事業推進本部事務局  
発行 薩摩川内市 未来政策部 秘書広報課  
〒895-8650 鹿児島県薩摩川内市神田町 3 番 22 号  
電話 (0996) 23-5111 (代表)